

2 校区別人口の状況

(1) 校区別自然動態（出生・死亡）の推移

2012年度から2017年度の出生・死亡の変化率をみると、出生数については11小学校区で減少傾向、死亡については11小学校区で増加傾向となっています。

小学校区別・出生数の推移

単位（人）

	市全体	柳河	城内	東宮永	矢留	両開	昭代第一	昭代第二	蒲池	豊原
2012年度	499	30	19	22	29	23	35	24	39	30
2013年度	503	32	23	33	25	23	44	23	39	33
2014年度	488	28	15	28	33	22	38	29	49	30
2015年度	472	30	23	28	24	22	41	25	37	27
2016年度	461	26	24	32	19	14	41	15	43	22
2017年度	411	31	21	15	27	18	24	22	45	30
変化率	-3.7%	1.4%	6.3%	-0.8%	2.4%	-2.4%	-4.3%	3.0%	4.4%	1.8%

	大和	皿垣	有明	中島	六合	藤吉	矢ヶ部	二ツ河	垂見	中山
2012年度	14	13	16	24	24	72	27	24	22	12
2013年度	16	8	6	24	23	69	30	25	17	10
2014年度	17	4	7	27	14	67	20	29	22	9
2015年度	12	7	5	24	17	76	24	24	20	6
2016年度	17	9	10	30	15	58	22	28	26	10
2017年度	8	10	4	18	13	60	28	17	13	7
変化率	-4.0%	5.2%	-6.9%	-2.7%	-9.4%	-2.8%	3.3%	-3.9%	-4.5%	-4.7%

小学校区別・死亡数の推移

単位（人）

	市全体	柳河	城内	東宮永	矢留	両開	昭代第一	昭代第二	蒲池	豊原
2012年度	950	73	44	50	68	51	62	70	117	43
2013年度	920	66	57	52	72	38	74	58	103	36
2014年度	914	56	60	43	81	44	68	55	82	72
2015年度	849	49	34	47	61	40	57	50	93	52
2016年度	919	66	53	42	64	63	59	59	97	49
2017年度	904	61	57	43	77	55	72	48	81	52
変化率	-0.9%	-2.0%	11.0%	-2.5%	3.8%	5.2%	4.1%	-6.4%	-6.2%	11.3%

	大和	皿垣	有明	中島	六合	藤吉	矢ヶ部	二ツ河	垂見	中山
2012年度	42	28	20	52	27	75	19	42	55	12
2013年度	36	15	24	60	37	73	18	43	48	10
2014年度	34	20	14	56	33	62	23	44	56	11
2015年度	40	24	18	53	36	69	24	48	45	9
2016年度	44	28	16	62	33	68	21	38	47	10
2017年度	37	18	17	59	31	52	21	60	45	18
変化率	-1.6%	-2.4%	0.4%	3.1%	4.2%	-6.3%	2.9%	10.2%	-3.1%	13.3%

※住民基本台帳データより作成。変化率は2012～2017年度の各年度間の変化率の平均値を示す

(2) 校区別自然増減数の推移

2012年度から2017年度までの「出生数」から「死亡数」を差し引いた自然増減数は、17小学校区で、マイナス（自然減）となっています。特に減少率の高い校区は「大和小校区」「垂見小校区」「矢留小校区」となっています。

小学校区別・自然増減数の推移

単位（人）

	市全体	柳河	城内	東宮永	矢留	両開	昭代第一	昭代第二	蒲池	豊原
2012年度	-451	-43	-25	-28	-39	-28	-27	-46	-78	-13
2013年度	-417	-34	-34	-19	-47	-15	-30	-35	-64	-3
2014年度	-426	-28	-45	-15	-48	-22	-30	-26	-33	-42
2015年度	-377	-19	-11	-19	-37	-18	-16	-25	-56	-25
2016年度	-458	-40	-29	-10	-45	-49	-18	-44	-54	-27
2017年度	-493	-30	-36	-28	-50	-37	-48	-26	-36	-22
計	-2,622	-194	-180	-119	-266	-169	-169	-202	-321	-132
増減率	-3.9%	-4.3%	-5.1%	-3.2%	-5.7%	-5.3%	-3.4%	-5.0%	-4.9%	-4.1%

	大和	皿垣	有明	中島	六合	藤吉	矢ヶ部	二ツ河	垂見	中山
2012年度	-28	-15	-4	-28	-3	-3	8	-18	-33	0
2013年度	-20	-7	-18	-36	-14	-4	12	-18	-31	0
2014年度	-17	-16	-7	-29	-19	5	-3	-15	-34	-2
2015年度	-28	-17	-13	-29	-19	7	0	-24	-25	-3
2016年度	-27	-19	-6	-32	-18	-10	1	-10	-21	0
2017年度	-29	-8	-13	-41	-18	8	7	-43	-32	-11
計	-149	-82	-61	-195	-91	3	25	-128	-176	-16
増減率	-7.0%	-5.5%	-4.3%	-5.2%	-3.7%	0.0%	1.1%	-3.3%	-5.8%	-2.0%

※住民基本台帳データより作成。自然増減数は出生数－死亡数、増減率は自然増減数／住民基本台帳人口（2018年3月31日現在）を示す

(3) 校区別社会動態の状況

17 小学校区で、転出が転入を上回っています。

「中山小校区」や「皿垣小校区」は転入率と転出率の差のマイナスが大きく、「藤吉小校区」「矢ヶ部小校区」は6年間で3割弱の転入・転出率があり、人の出入りが多い校区となっています。

小学校区別社会動態の状況（2012～2017 年度）

単位（人）

	市全体	柳河	城内	東宮永	矢留	両開	昭代第一	昭代第二
転入	10,353	810	602	545	523	297	713	415
転出	12,152	874	719	665	761	382	911	543
差（転入—転出）	-1,799	-64	-117	-120	-238	-85	-198	-128
転入率	15.5%	17.8%	17.2%	14.5%	11.2%	9.3%	14.4%	10.2%
転出率	18.2%	19.2%	20.6%	17.7%	16.2%	12.0%	18.4%	13.3%
差（転入率—転出率）	-2.7	-1.4	-3.3	-3.2	-5.1	-2.7	-4.0	-3.1

	蒲池	豊原	大和	皿垣	有明	中島	六合	藤吉
転入	1,172	585	257	108	130	410	321	1,858
転出	1,300	564	320	227	183	564	400	1,867
差（転入—転出）	-128	21	-63	-119	-53	-154	-79	-9
転入率	17.8%	18.1%	12.1%	7.3%	9.3%	10.9%	13.0%	26.7%
転出率	19.8%	17.4%	15.0%	15.3%	13.0%	15.1%	16.2%	26.8%
差（転入率—転出率）	-1.9	0.6	-3.0	-8.0	-3.8	-4.1	-3.2	-0.1

	矢ヶ部	二ツ河	垂見	中山
転入	692	452	369	94
転出	620	627	444	181
差（転入—転出）	72	-175	-75	-87
転入率	29.6%	11.5%	12.2%	11.8%
転出率	26.5%	15.9%	14.7%	22.7%
差（転入率—転出率）	3.1	-4.4	-2.5	-10.9

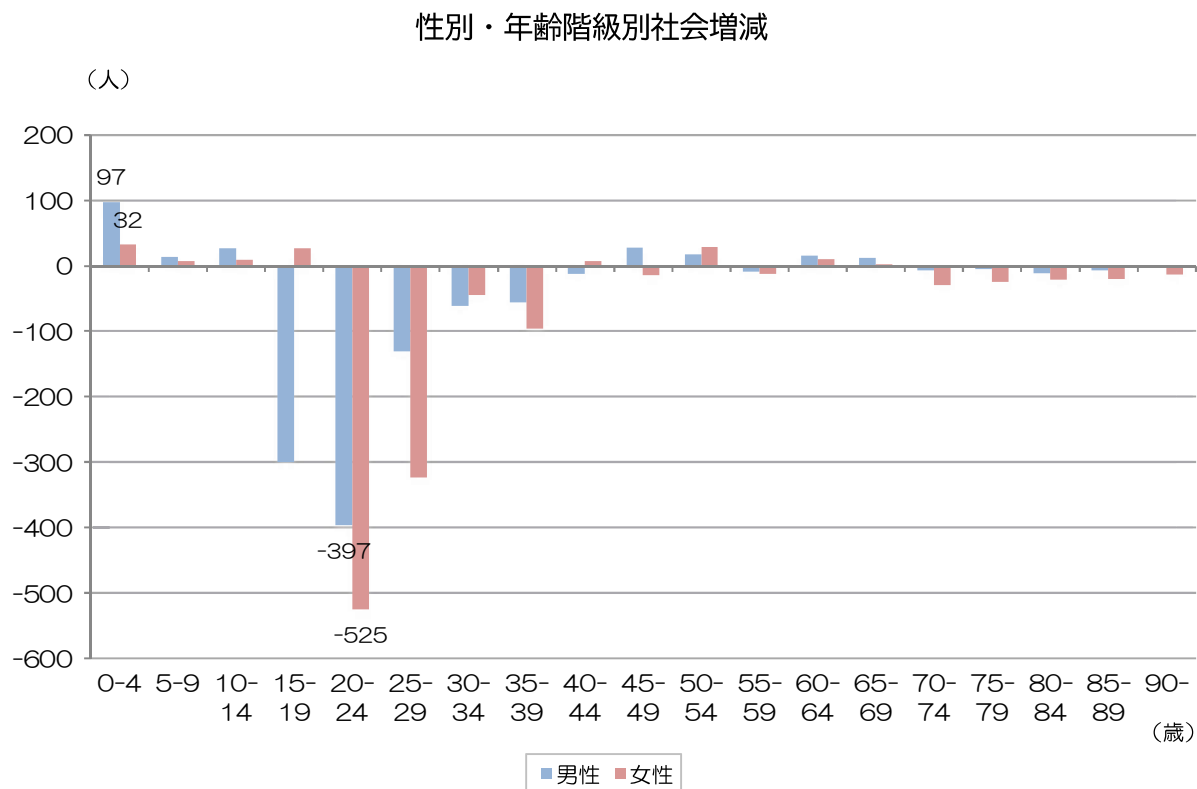
※住民基本台帳データより作成。転入（出）率は、転入（出）者数／住民基本台帳人口（2018 年 3 月 31 日現在）を示す

(4) 校区別人口移動及び将来推計人口

【参考】市全体

6年間の社会増減についてみると、多くの年代で社会減となっている一方、4歳以下の年代は増加しており、子育て世帯においては社会増となっています。

・社会増減（2012～2017年度）



※住民基本台帳データより作成

① 柳河小校区

人口動態をみると、自然減かつ社会減の状態にあります。

社会増減の内訳をみると、子育て世帯において社会増となっている一方、多くの年代で社会減となっています。

2040 年の推計人口は、2017 年の 4,597 人と比べて 1,341 人（29.2%）減の 3,256 人になると予測されます。

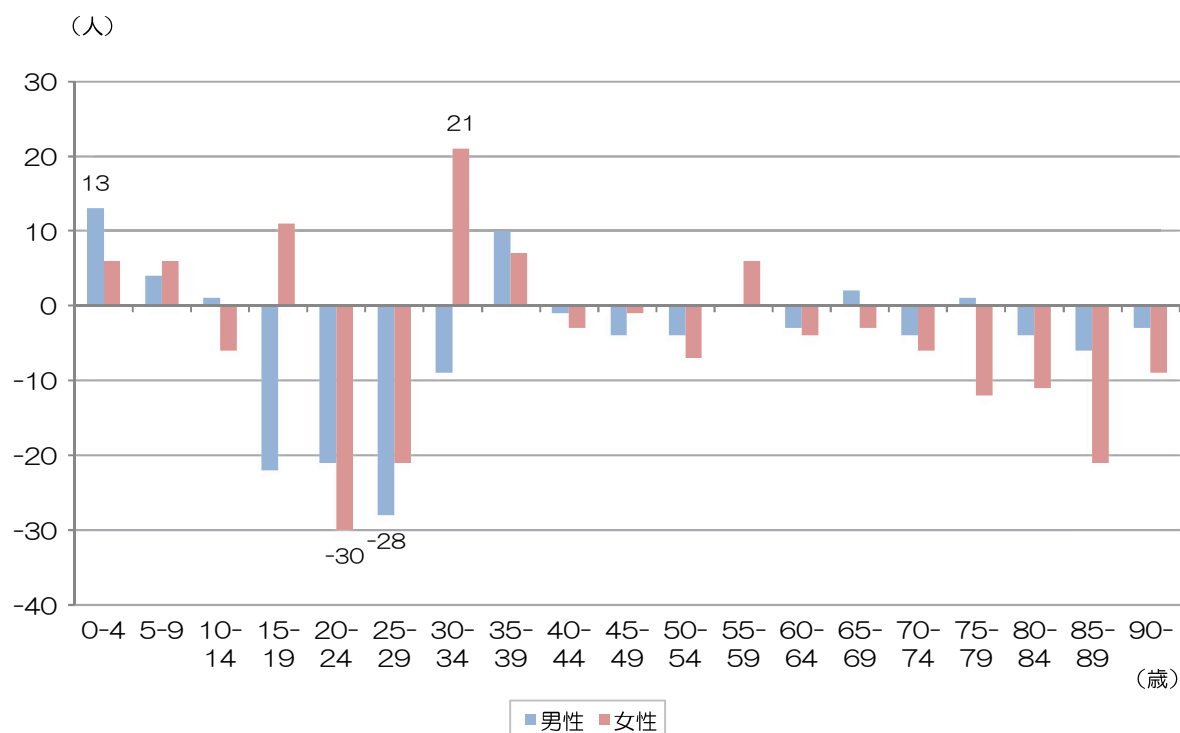
・人口動態（2012～2017 年度）

自然増減数	出生数	死亡数
-194	177	371

	社会増減数	転入数	転出数
市内間移動	-91	466	557
市外間移動	-64	810	874

・社会増減（2012～2017 年度）

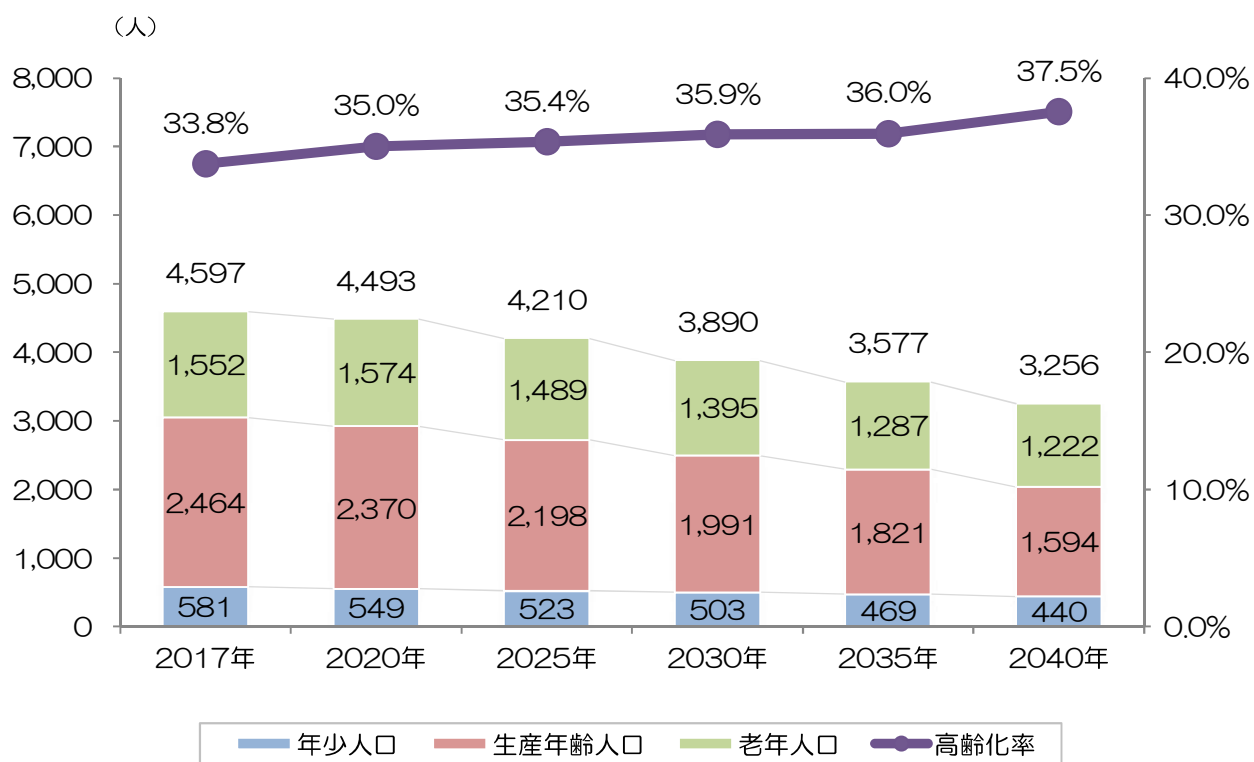
性別・年齢階級別社会増減



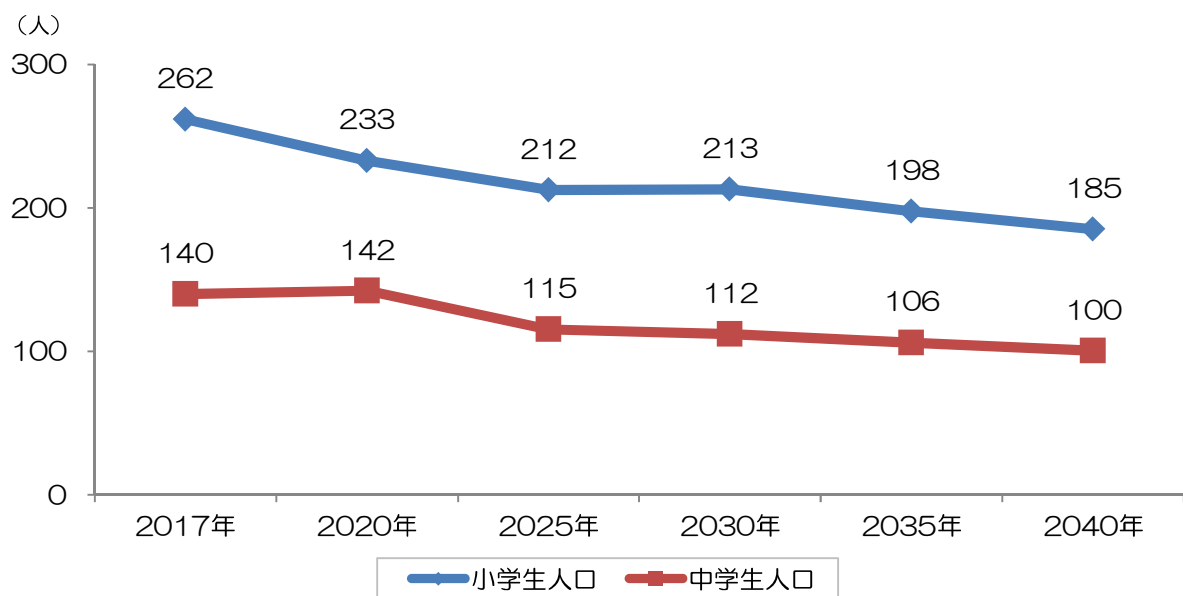
※住民基本台帳データより作成

・将来推計人口

年齢3区分と高齢化率



小・中学生



※2017年は住民基本台帳人口、2020年以降は柳川市独自推計より作成。小学生人口は7～12歳人口、中学生人口は13～15歳人口を示す

② 城内小校区

人口動態をみると、自然減かつ社会減の状態にあります。市内間移動では社会増となっている一方、市外間移動では社会減となっています。

社会増減の内訳をみると、子育て世帯において社会増となっている一方、20代を中心に多くの年代で社会減となっています。

2040年の推計人口は、2017年の3,516人と比べて731人（20.8%）減の2,785人になると予測されます。

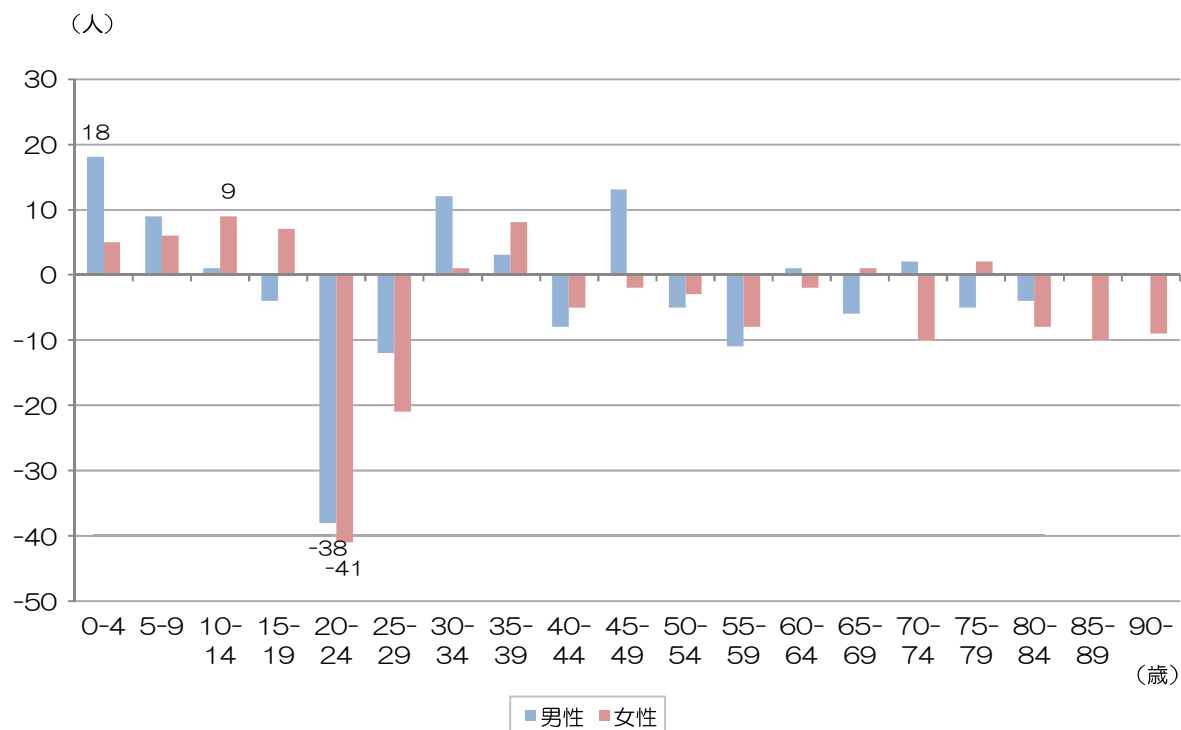
・人口動態（2012～2017年度）

自然増減数	出生数	死亡数
-180	125	305

	社会増減数	転入数	転出数
市内間移動	3	494	491
市外間移動	-117	602	719

・社会増減（2012～2017年度）

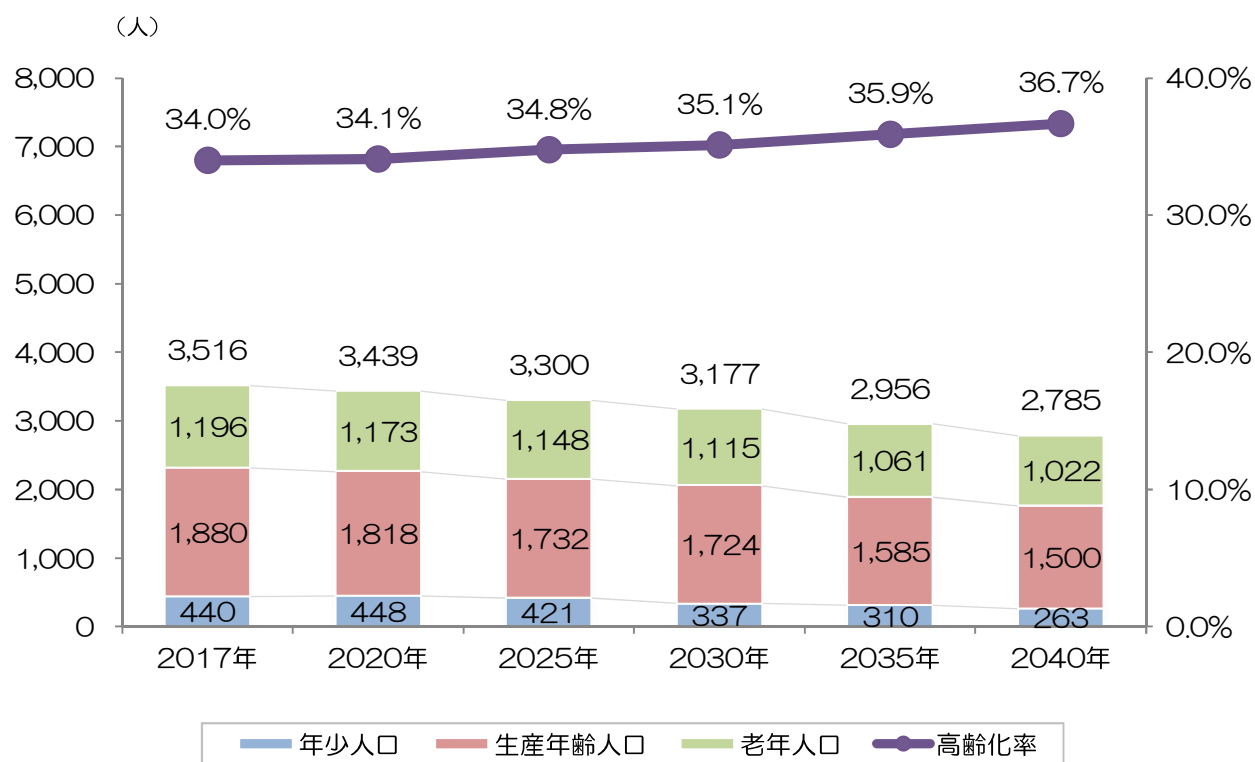
性別・年齢階級別社会増減



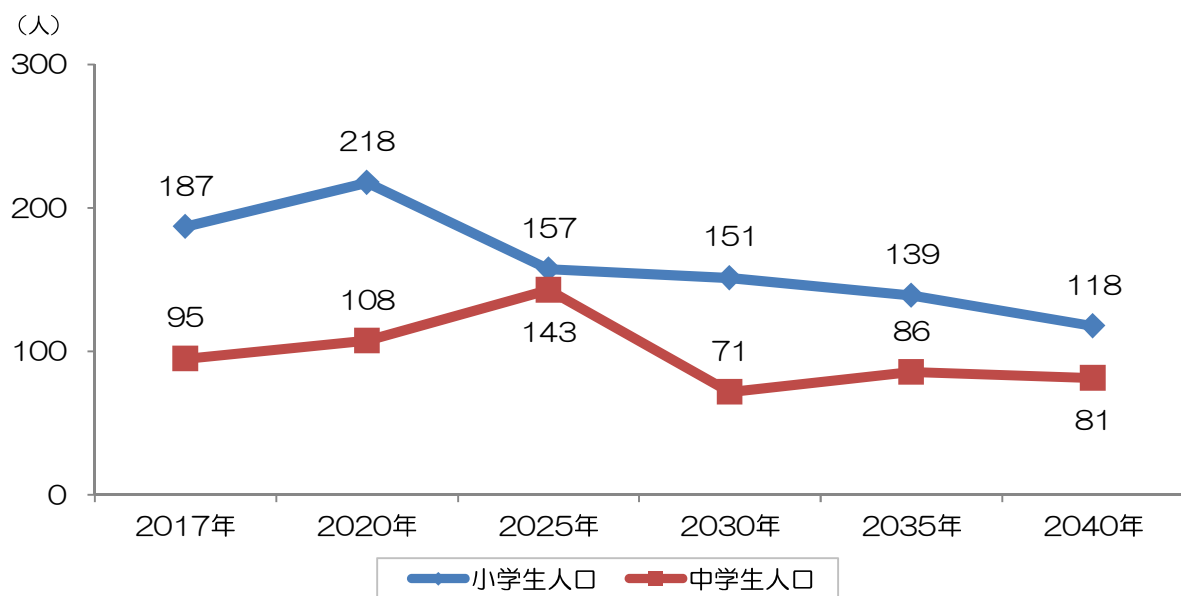
※住民基本台帳データより作成

・将来推計人口

年齢3区分と高齢化率



小・中学生



※2017年は住民基本台帳人口、2020年以降は柳川市独自推計より作成。小学生人口は7～12歳人口、中学生人口は13～15歳人口を示す

③ 東宮永小校区

人口動態をみると、自然減である一方、社会増の状態にあります。しかし、社会増は市内間移動（全校区中２番目の多さ）で得たものであり、市外間移動では社会減となっています。

社会増減の内訳をみると、10代後半から20代前半を中心に社会減となっている一方、多くの年代で社会増となっています。

2040年の推計人口は、2017年の3,850人と比べて915人（23.8%）減の2,935人になると予測されます。

・人口動態（2012～2017年度）

自然増減数	出生数	死亡数
-119	158	277

	社会増減数	転入数	転出数
市内間移動	197	653	456
市外間移動	-120	545	665

・社会増減（2012～2017年度）

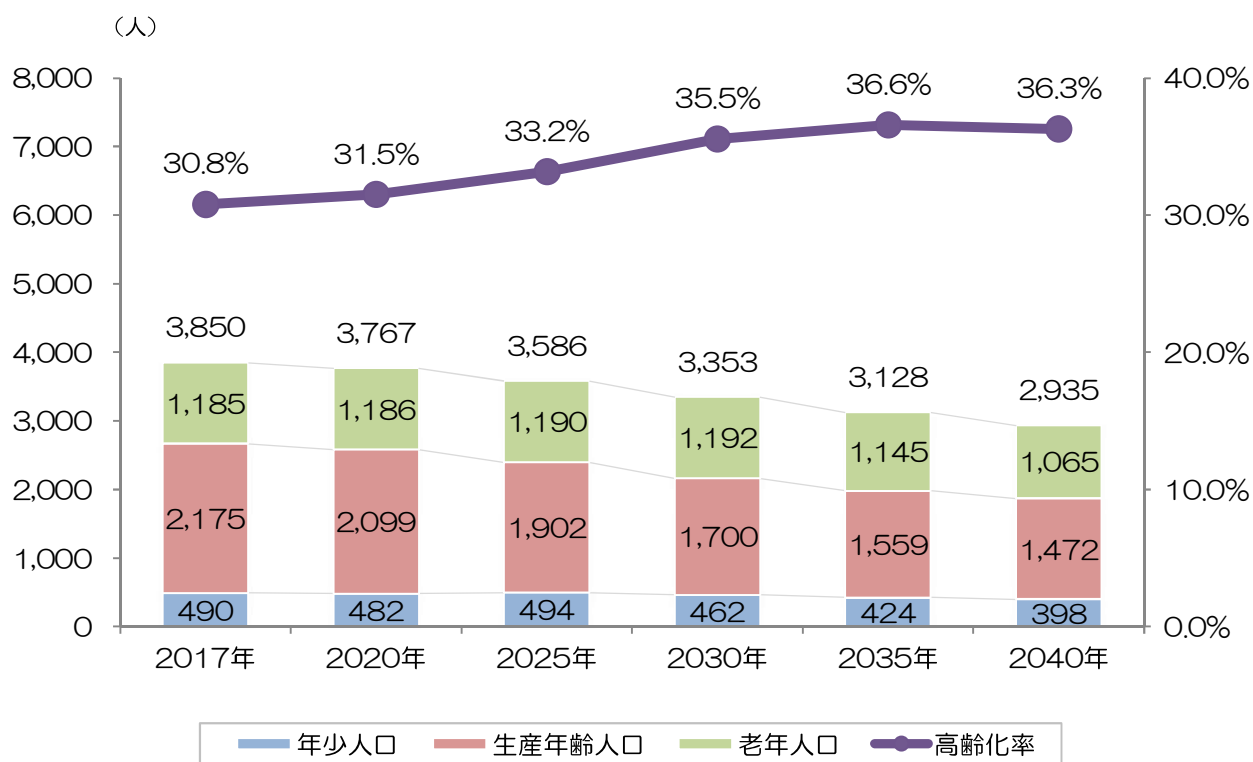
性別・年齢階級別社会増減



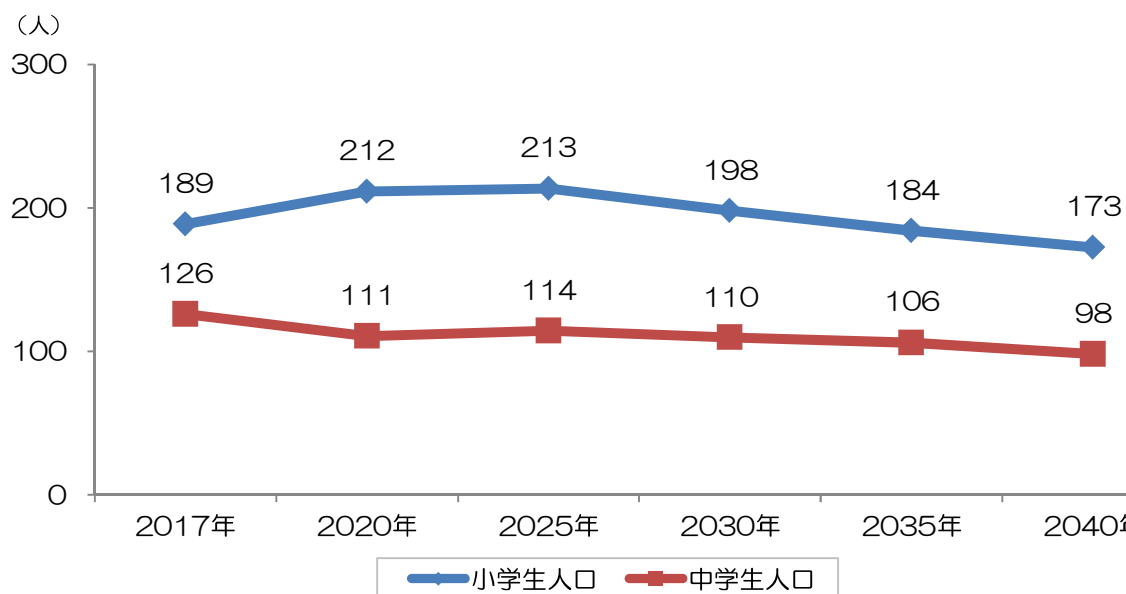
※住民基本台帳データより作成

・将来推計人口

年齢3区分と高齢化率



小・中学生



※2017年は住民基本台帳人口、2020年以降は柳川市独自推計より作成。小学生人口は7～12歳人口、中学生人口は13～15歳人口を示す

④ 矢留小校区

人口動態をみると、自然減（全校区中 2 番目の多さ）かつ社会減（市内間移動、市外間移動ともに全校区中 1 番目の多さ）の状態にあります。

社会増減の内訳をみると、10 代から 30 代を中心にほとんどの年代で社会減となっています。

2040 年の推計人口は、2017 年の 4,720 人と比べて 1,832 人（38.8%）減の 2,888 人になると予測されます。

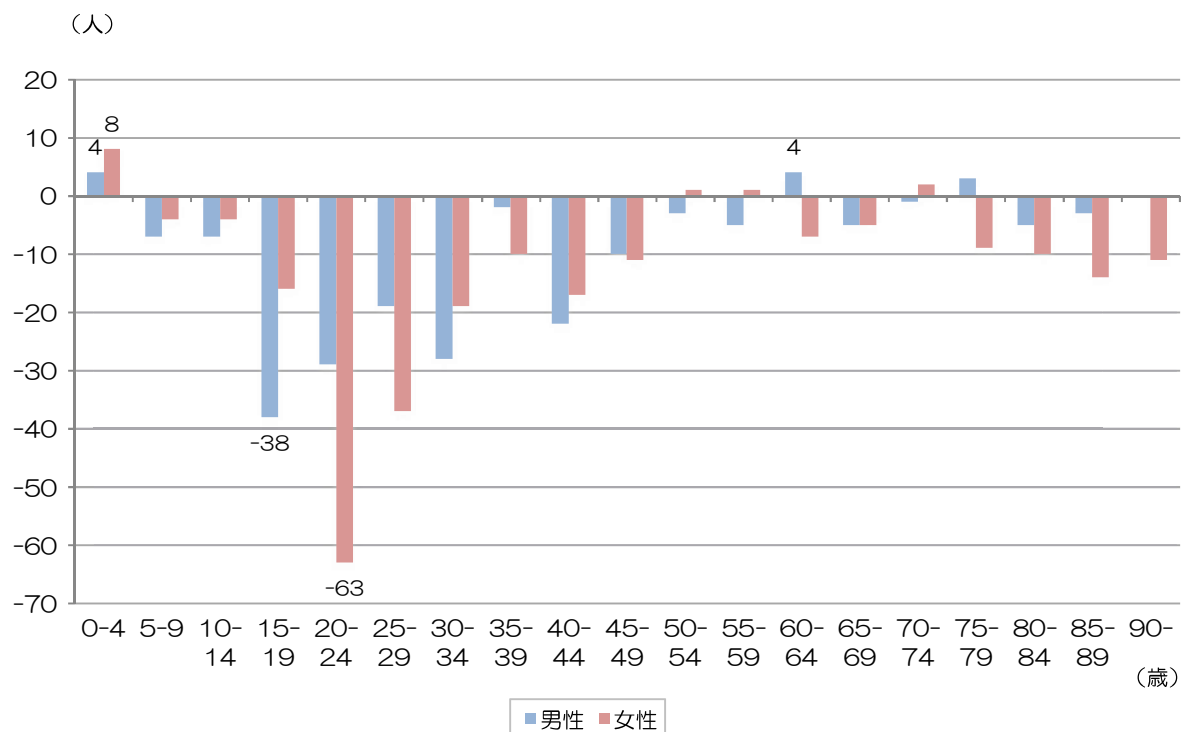
・人口動態（2012～2017 年度）

自然増減数	出生数	死亡数
-266	157	423

	社会増減数	転入数	転出数
市内間移動	-160	376	536
市外間移動	-238	523	761

・社会増減（2012～2017 年度）

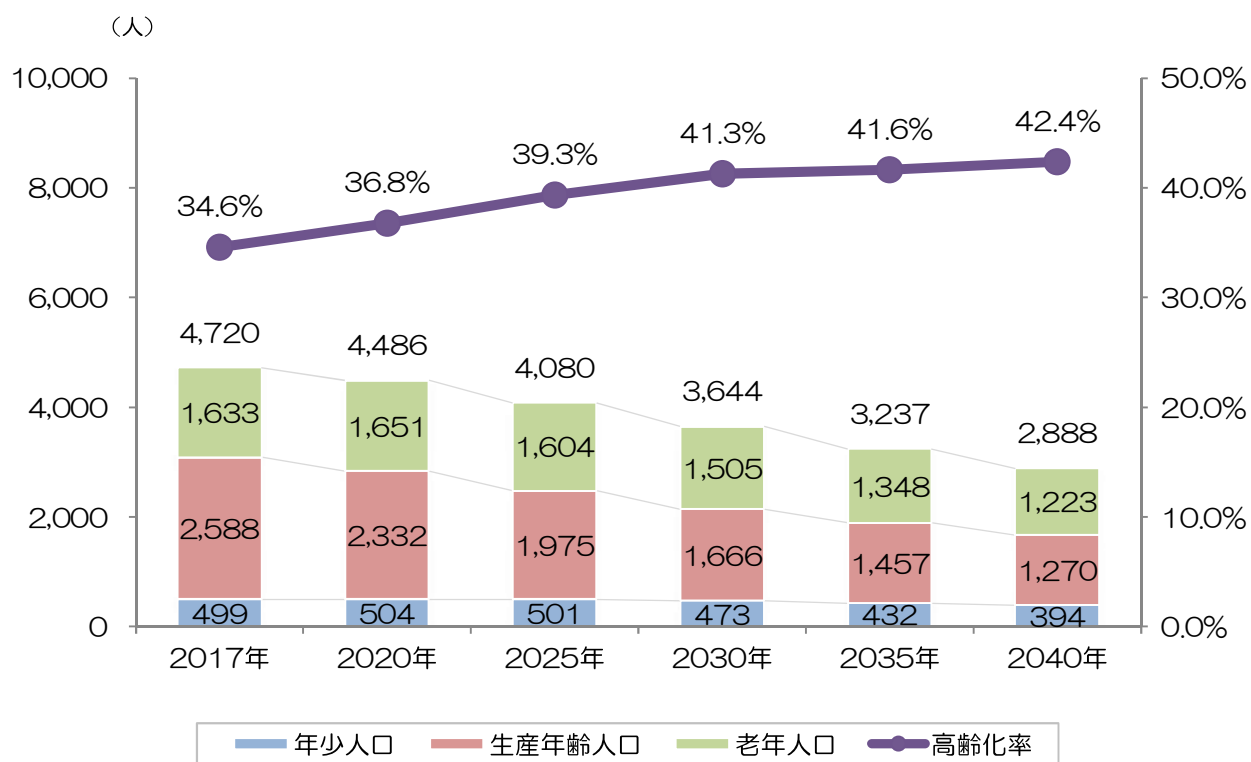
性別・年齢階級別社会増減



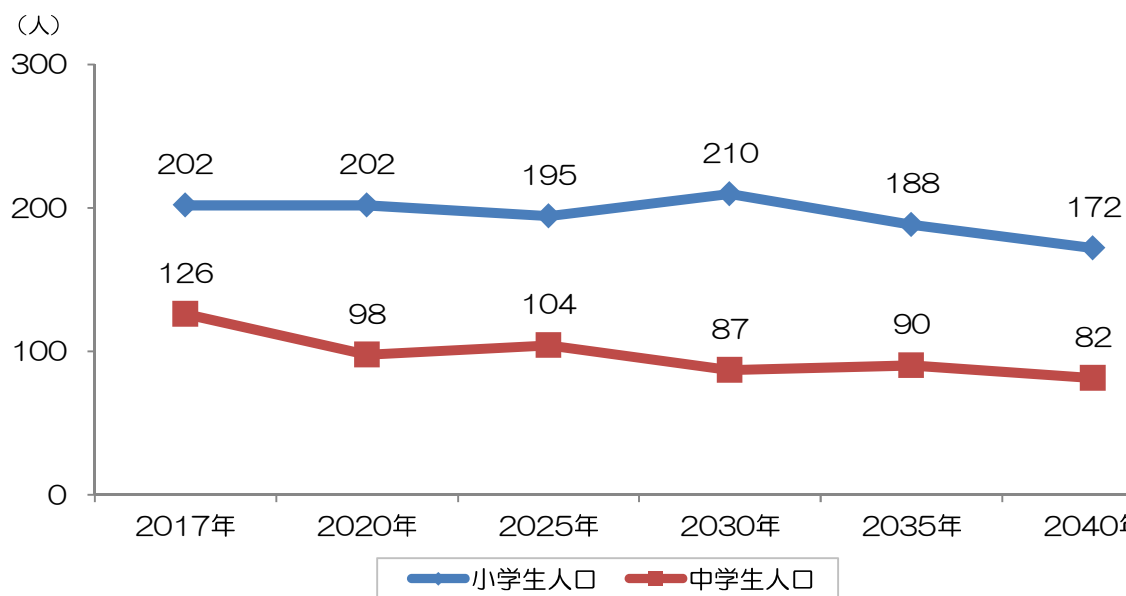
※住民基本台帳データより作成

・将来推計人口

年齢3区分と高齢化率



小・中学生



※2017年は住民基本台帳人口、2020年以降は柳川市独自推計より作成。小学生人口は7～12歳人口、中学生人口は13～15歳人口を示す

⑤ 両開小校区

人口動態をみると、自然減かつ社会減の状態にあります。

社会増減の内訳をみると、10代から30代を中心にほとんどの年代で社会減となっています。

2017年の高齢化率をみると、全校区中2番目の高さとなっています。

2040年の推計人口は、2017年の3,246人と比べて1,012人（31.2%）減の2,234人になると予測されます。

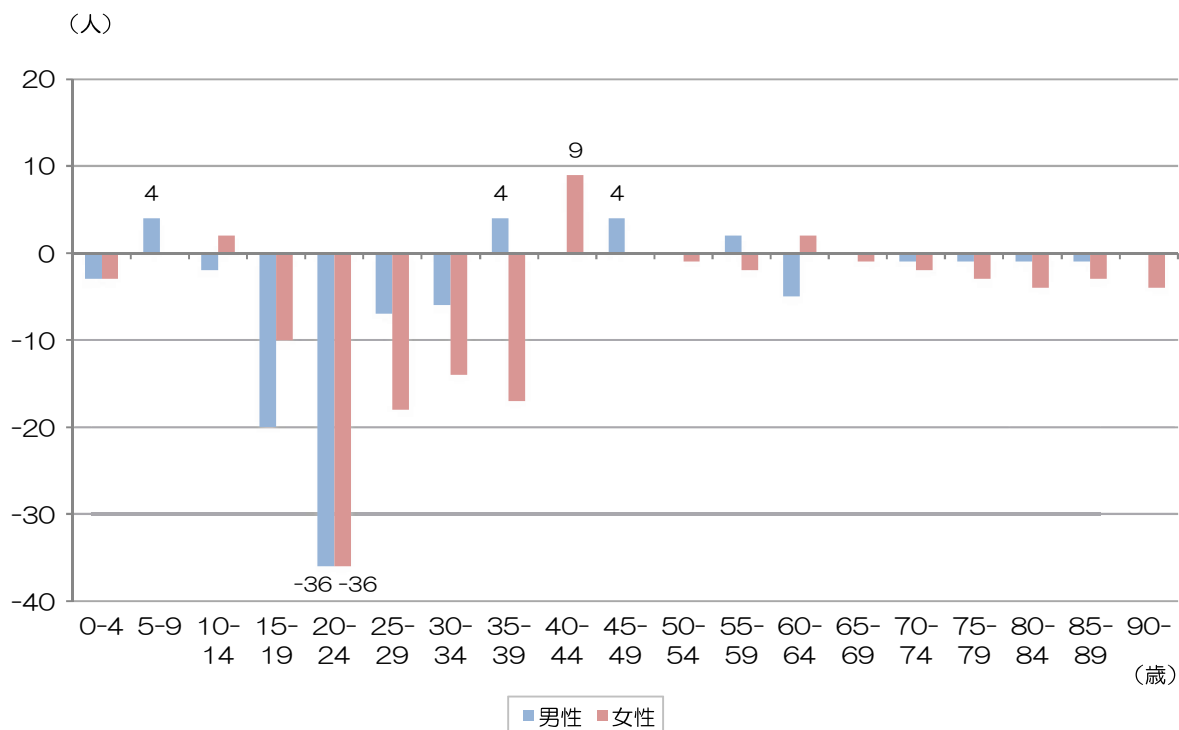
・人口動態（2012～2017年度）

自然増減数	出生数	死亡数
-169	122	291

	社会増減数	転入数	転出数
市内間移動	-89	196	285
市外間移動	-85	297	382

・社会増減（2012～2017年度）

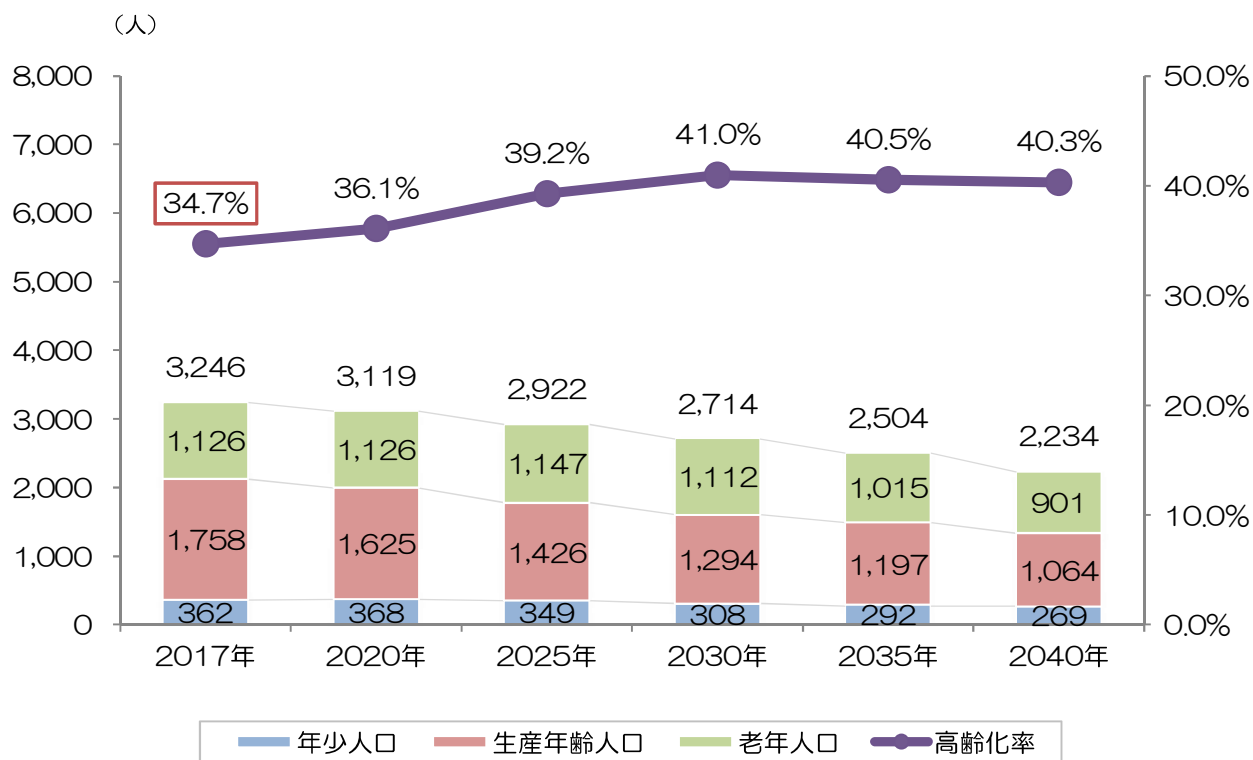
性別・年齢階級別社会増減



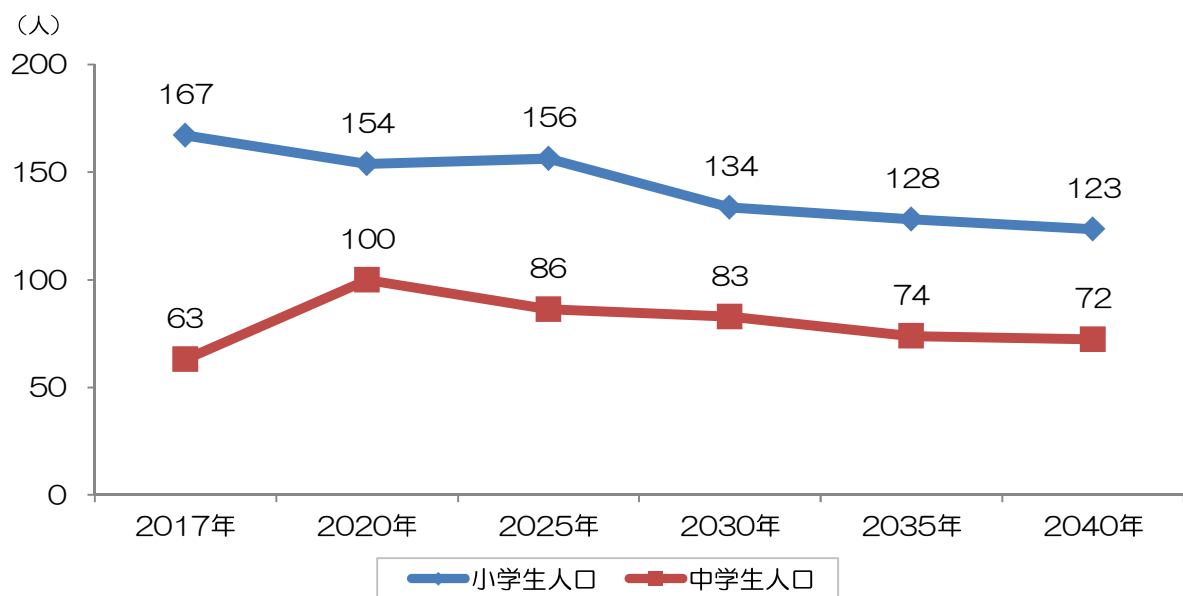
※住民基本台帳データより作成

・将来推計人口

年齢3区分と高齢化率



小・中学生



※2017年は住民基本台帳人口、2020年以降は柳川市独自推計より作成。小学生人口は7～12歳人口、中学生人口は13～15歳人口を示す

⑥ 昭代第一小校区

人口動態をみると、自然減かつ社会減（市外間移動で全校区中 2 番目の多さ）の状態にあります。

社会増減の内訳をみると、10 代から 40 代を中心にほとんどの年代で社会減となっています。

2040 年の推計人口は、2017 年の 5,175 人と比べて 1,819 人（35.1%）減の 3,356 人になると予測されます。

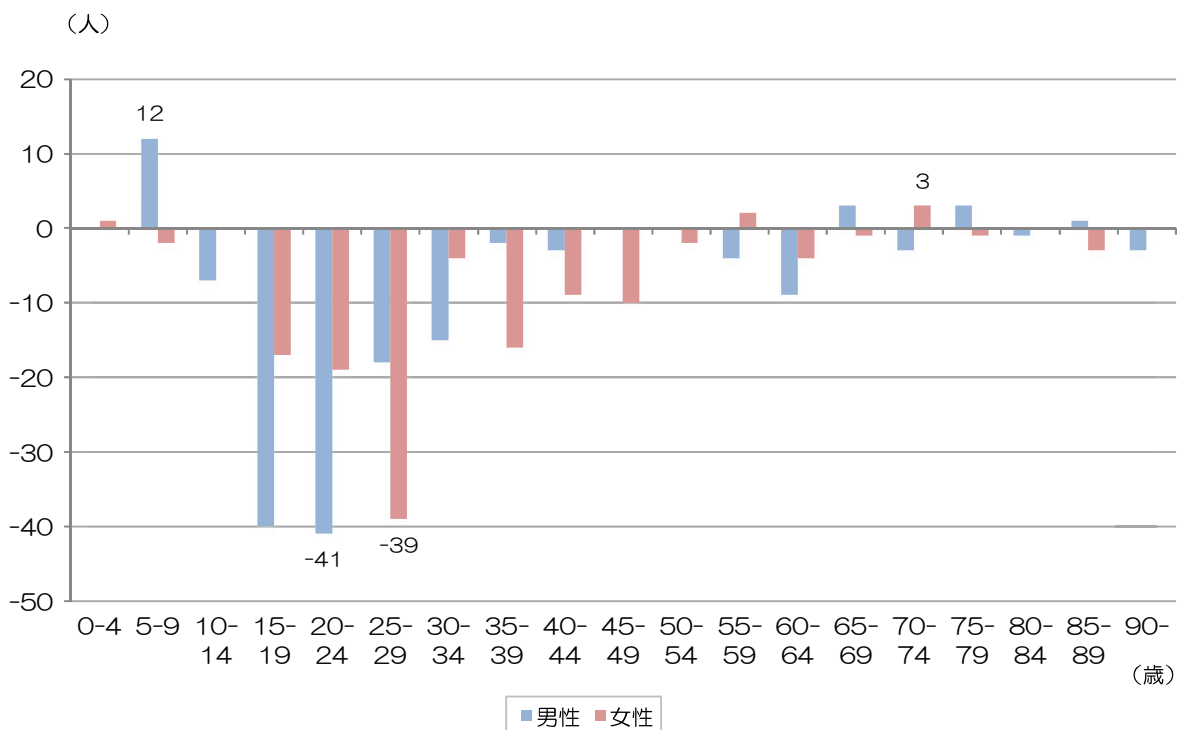
・人口動態（2012～2017 年度）

自然増減数	出生数	死亡数
-169	223	392

	社会増減数	転入数	転出数
市内間移動	-50	366	416
市外間移動	-198	713	911

・社会増減（2012～2017 年度）

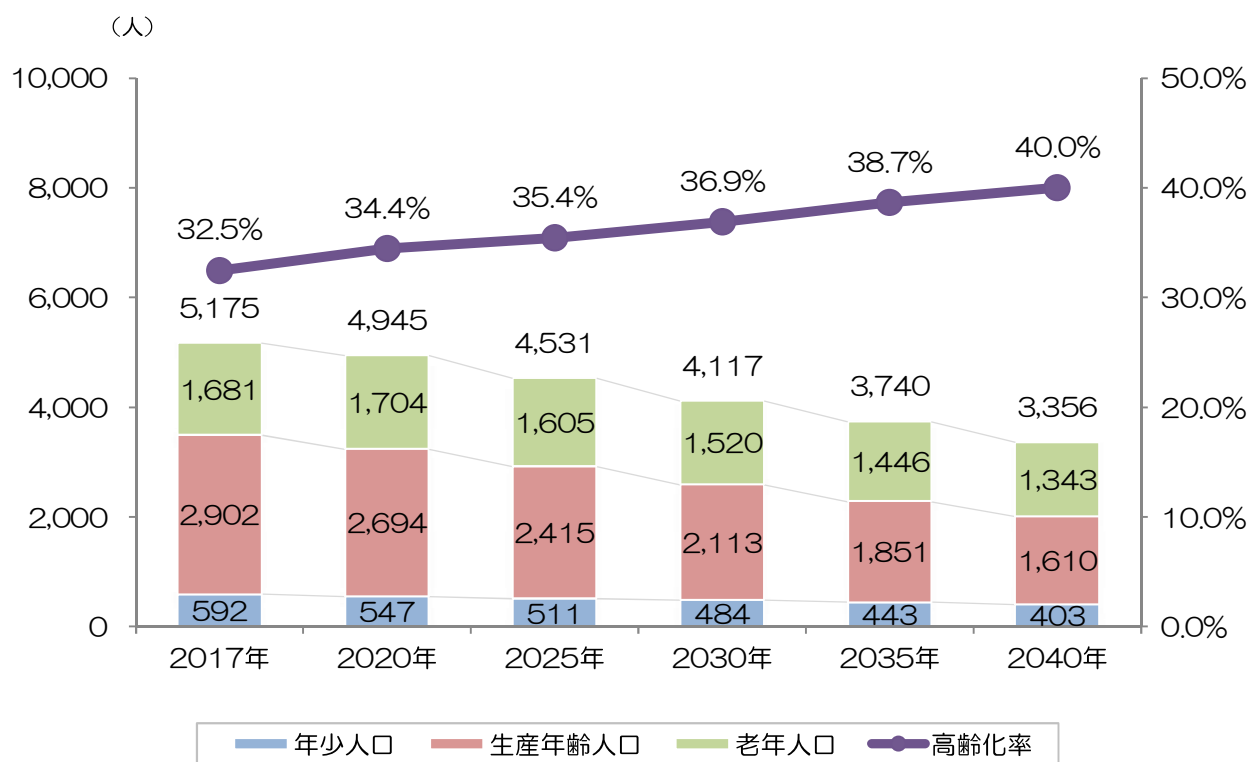
性別・年齢階級別社会増減



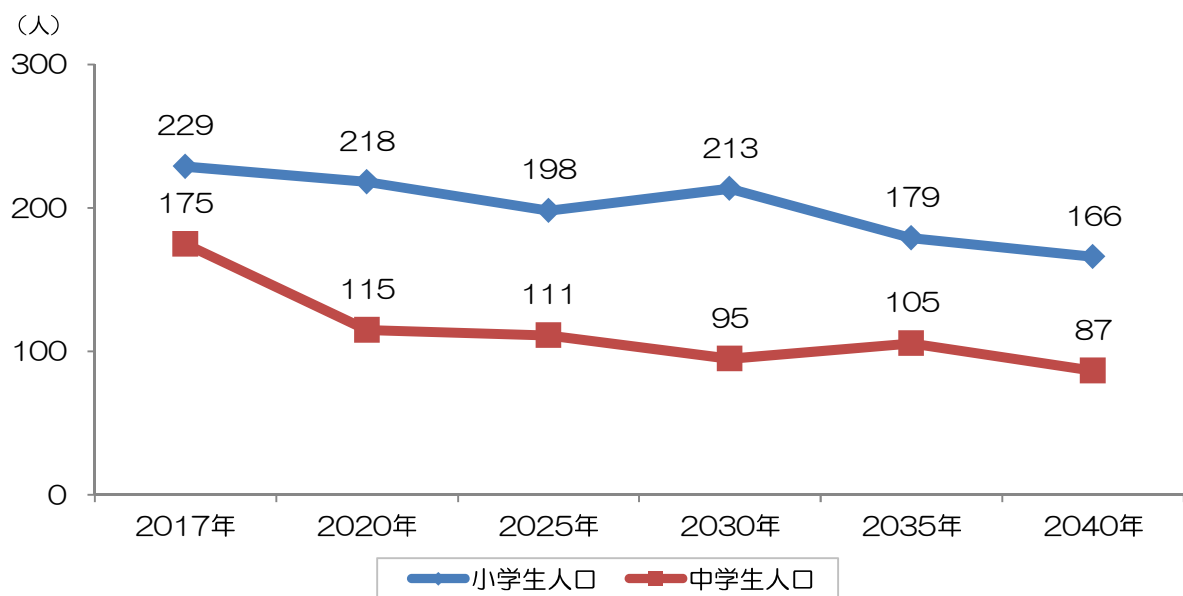
※住民基本台帳データより作成

・将来推計人口

年齢3区分と高齢化率



小・中学生



※2017年は住民基本台帳人口、2020年以降は柳川市独自推計より作成。小学生人口は7～12歳人口、中学生人口は13～15歳人口を示す

⑦ 昭代第二小校区

人口動態をみると、自然減かつ社会減の状態にあります。

社会増減の内訳をみると、10代から30代を中心にほとんどの年代で社会減となっています。

2040年の推計人口は、2017年の3,911人と比べて1,477人（37.8%）減の2,434人になると予測されます。

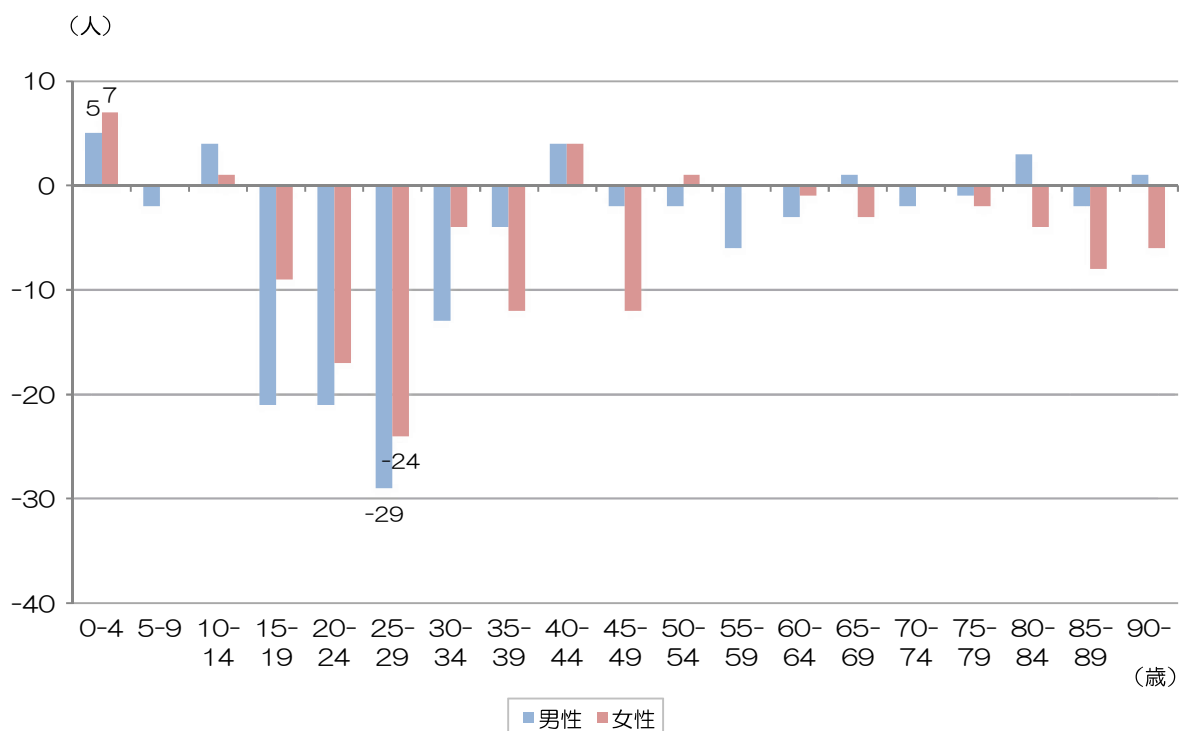
・人口動態（2012～2017年度）

自然増減数	出生数	死亡数
-202	138	340

	社会増減数	転入数	転出数
市内間移動	-51	257	308
市外間移動	-128	415	543

・社会増減（2012～2017年度）

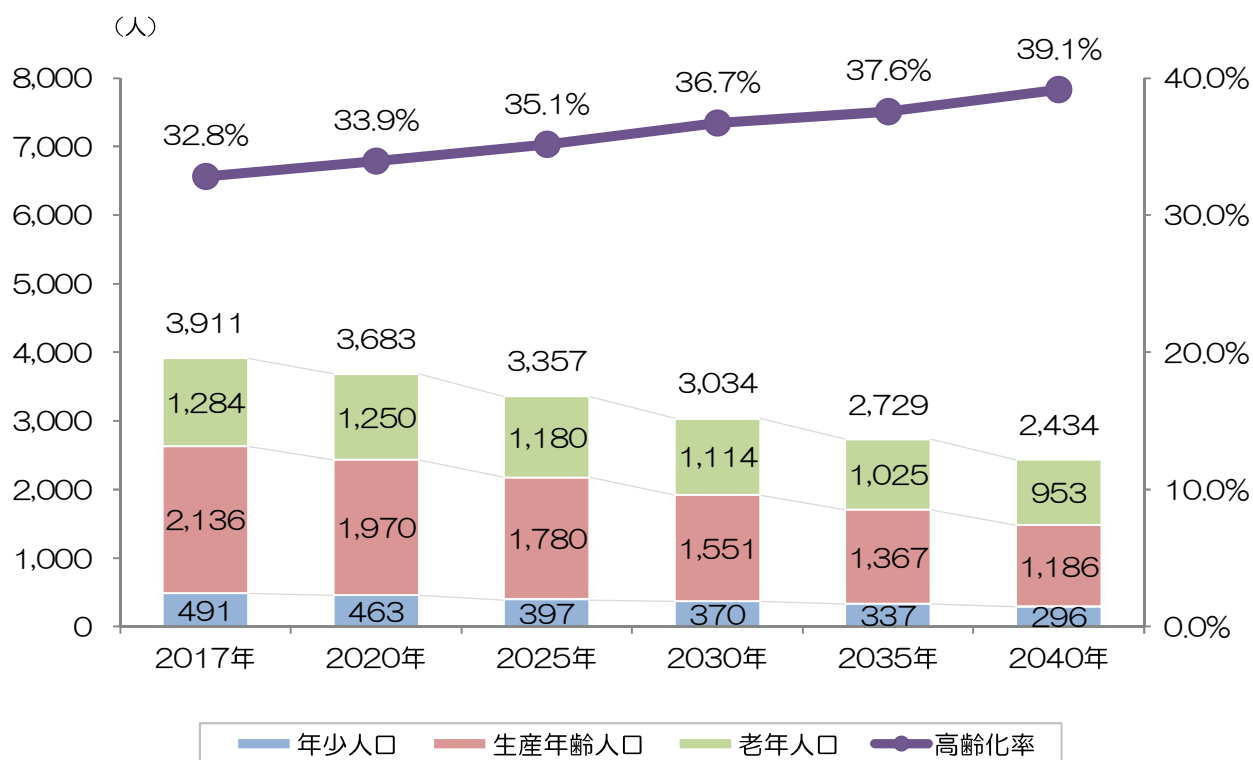
性別・年齢階級別社会増減



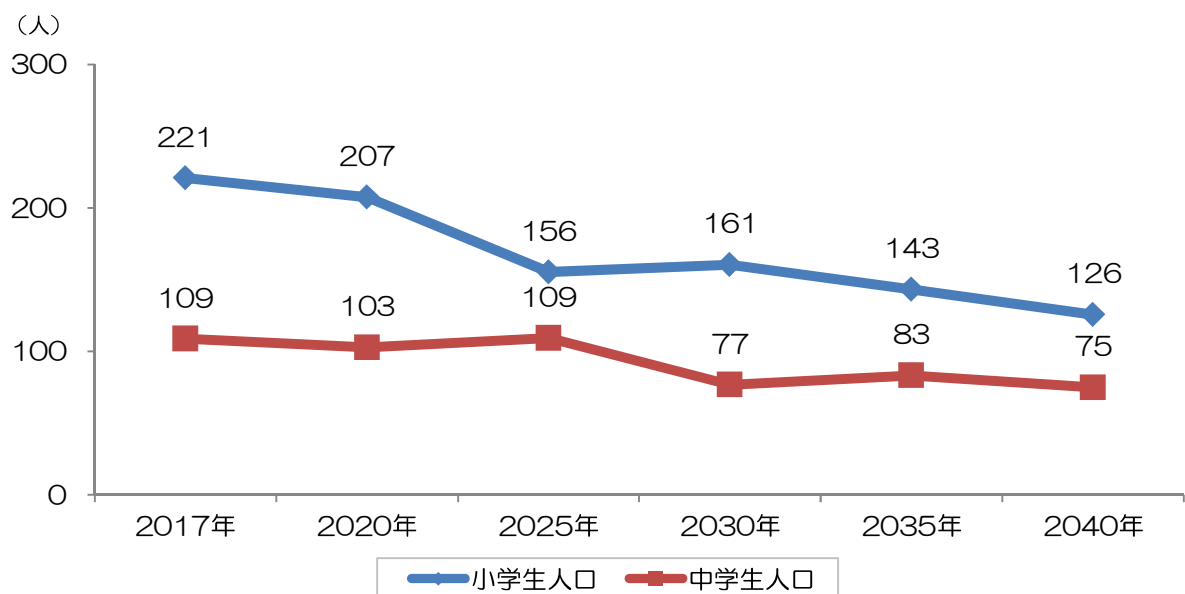
※住民基本台帳データより作成

・将来推計人口

年齢3区分と高齢化率



小・中学生



※2017年は住民基本台帳人口、2020年以降は柳川市独自推計より作成。小学生人口は7～12歳人口、中学生人口は13～15歳人口を示す

⑧ 蒲池小校区

人口動態をみると、自然減（全校区中1番目の多さ）である一方、社会増の状態にあります。しかし、社会増は市内間移動で得たものであり、市外間移動では社会減となっています。

社会増減の内訳をみると、10代後半から40代前半を中心に社会減となっている一方、10代前半以下及び70代後半以上の年代を中心に社会増となっています。

2040年の推計人口は、2017年の6,640人と比べて1,539人（23.2%）減の5,101人になると予測されます。

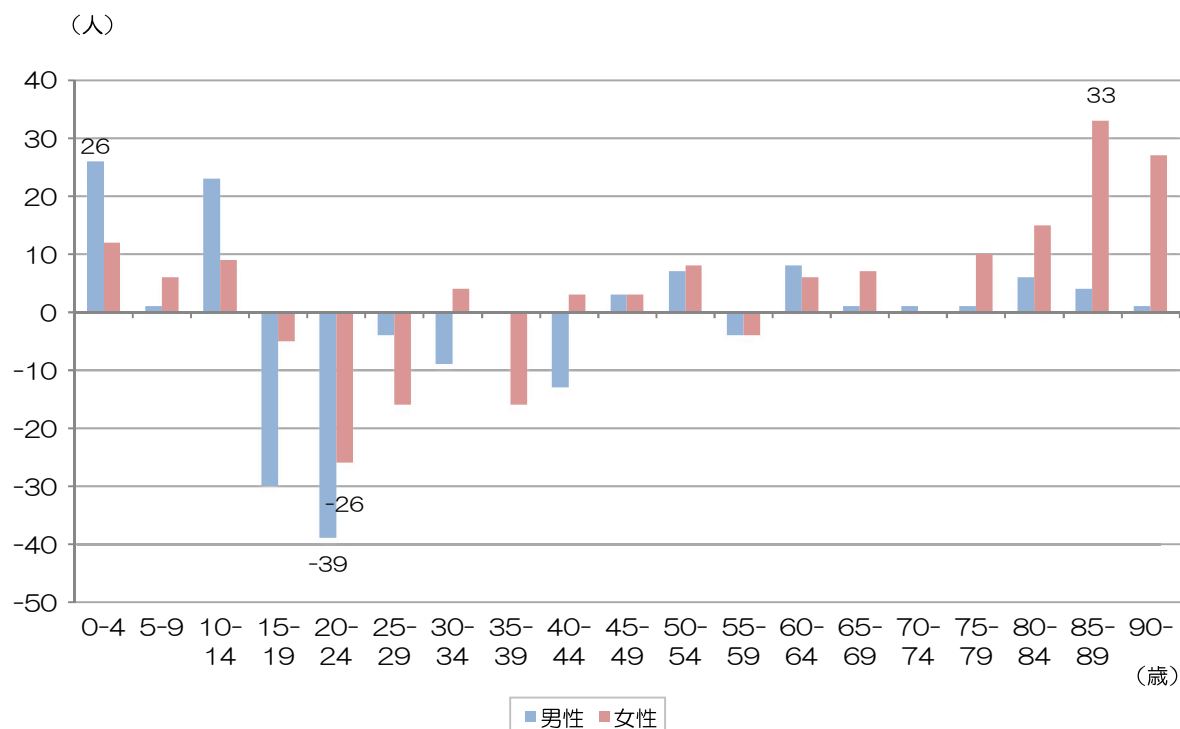
・人口動態（2012～2017年度）

自然増減数	出生数	死亡数
-321	252	573

	社会増減数	転入数	転出数
市内間移動	187	677	490
市外間移動	-128	1,172	1,300

・社会増減（2012～2017年度）

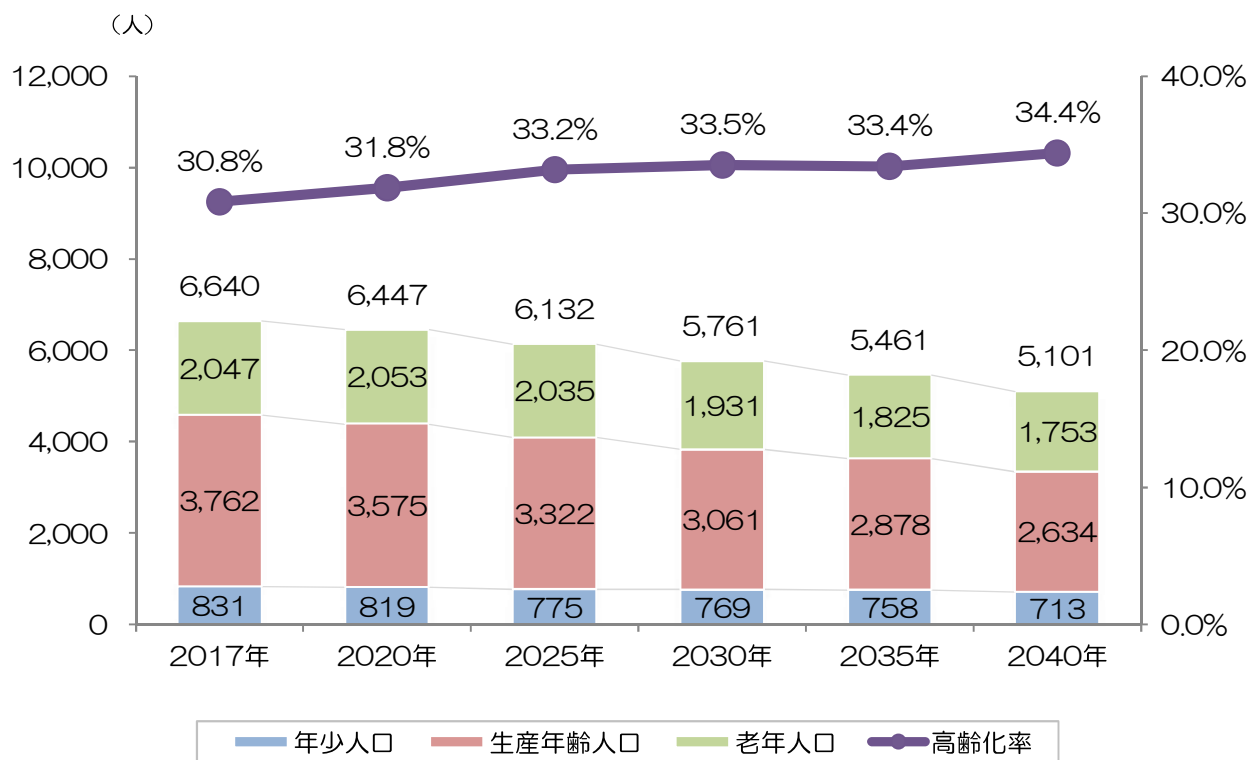
性別・年齢階級別社会増減



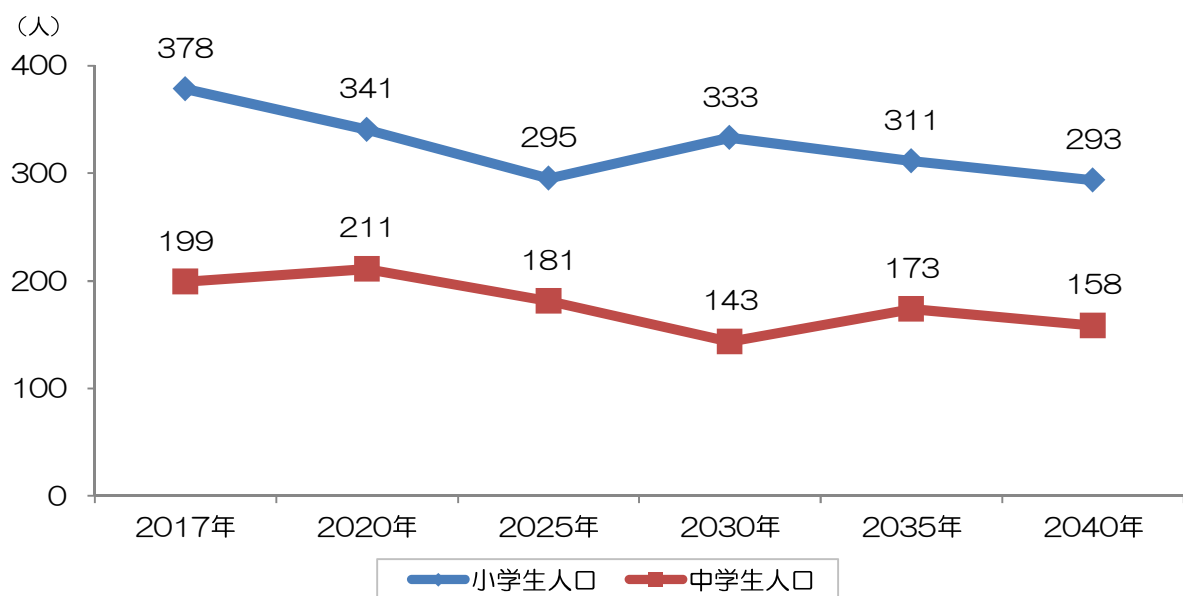
※住民基本台帳データより作成

・将来推計人口

年齢3区分と高齢化率



小・中学生



※2017年は住民基本台帳人口、2020年以降は柳川市独自推計より作成。小学生人口は7～12歳人口、中学生人口は13～15歳人口を示す

⑨ 豊原小校区

人口動態をみると、自然減かつ社会減（市内間移動で全校区中 2 番目の多さ）の状況にあります。市外間移動では社会増（全校区中 2 番目の多さ）を得ています。

社会増減の内訳をみると、20 代以下を中心に社会減となっています。

2040 年の推計人口は、2017 年の 3,271 人と比べて 920 人（28.1%）減の 2,351 人になると予測されます。

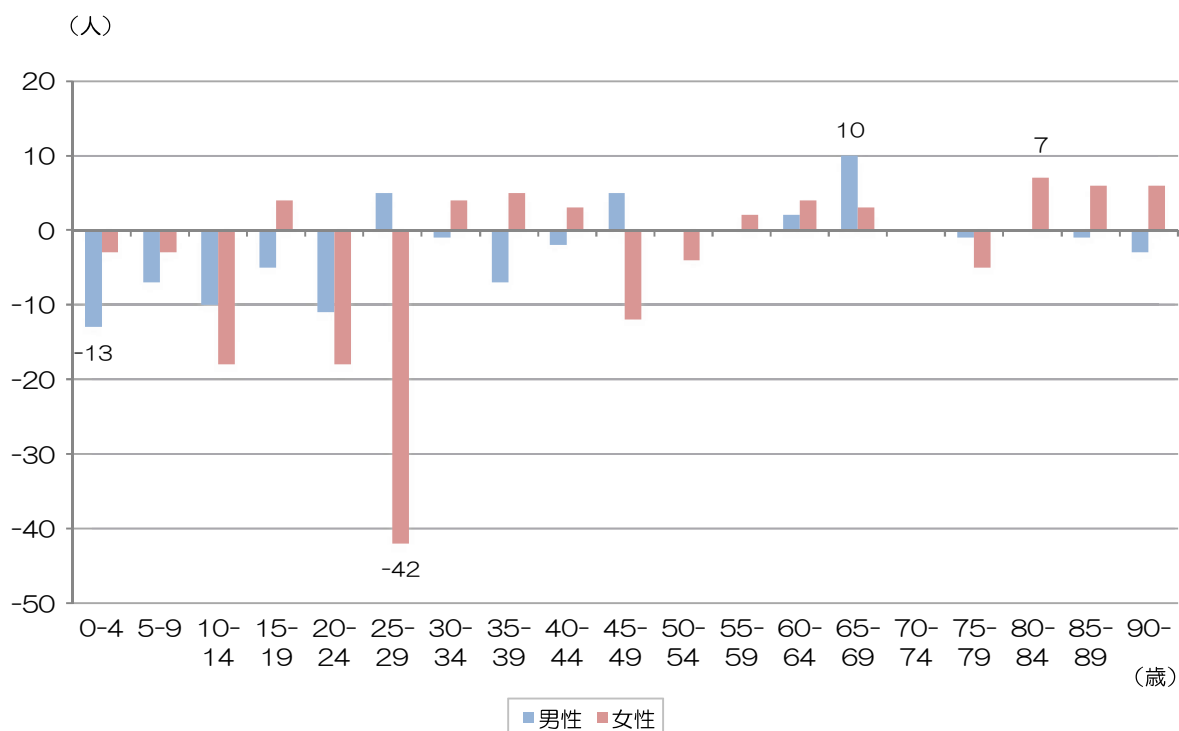
・人口動態（2012～2017 年度）

自然増減数	出生数	死亡数
-132	172	304

	社会増減数	転入数	転出数
市内間移動	-121	318	439
市外間移動	21	585	564

・社会増減（2012～2017 年度）

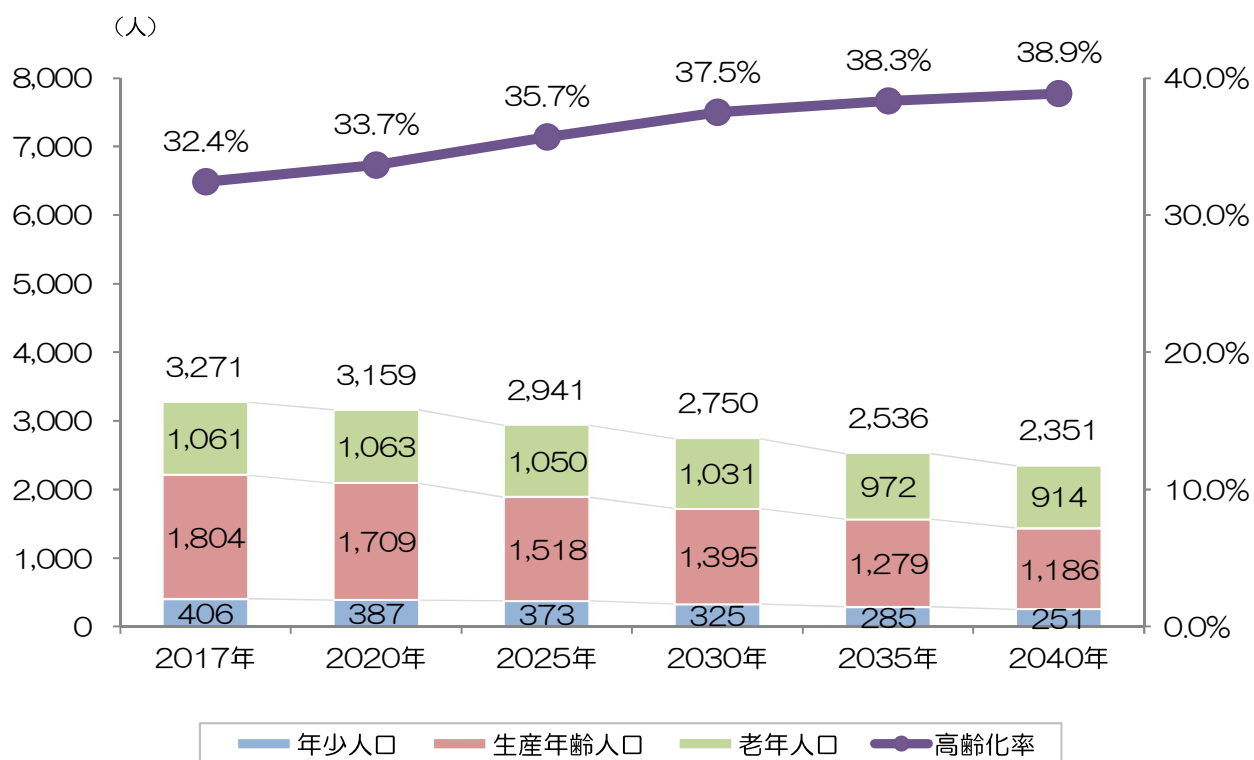
性別・年齢階級別社会増減



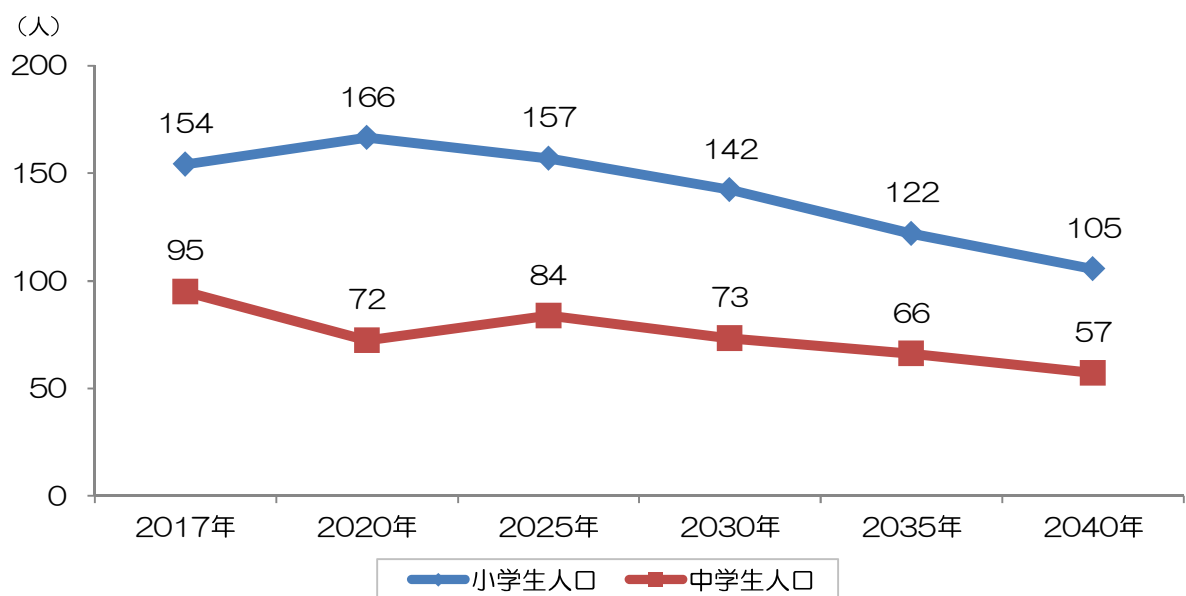
※住民基本台帳データより作成

・将来推計人口

年齢3区分と高齢化率



小・中学生



※2017 年は住民基本台帳人口、2020 年以降は柳川市独自推計より作成。小学生人口は 7～12 歳人口、中学生人口は 13～15 歳人口を示す

⑩ 大和小校区

人口動態をみると、自然減かつ社会減の状態にあります。市内間移動では社会増を得ている一方、市外間移動では社会減となっています。

社会増減の内訳をみると、子育て世帯や高齢層において社会増となっている一方、10代後半から20代を中心に社会減となっています。

2040年の推計人口は、2017年の2,142人と比べて618人（28.9%）減の1,524人になると予測されます。

・人口動態（2012～2017年度）

自然増減数	出生数	死亡数
-149	84	233

	社会増減数	転入数	転出数
市内間移動	29	237	208
市外間移動	-63	257	320

・社会増減（2012～2017年度）

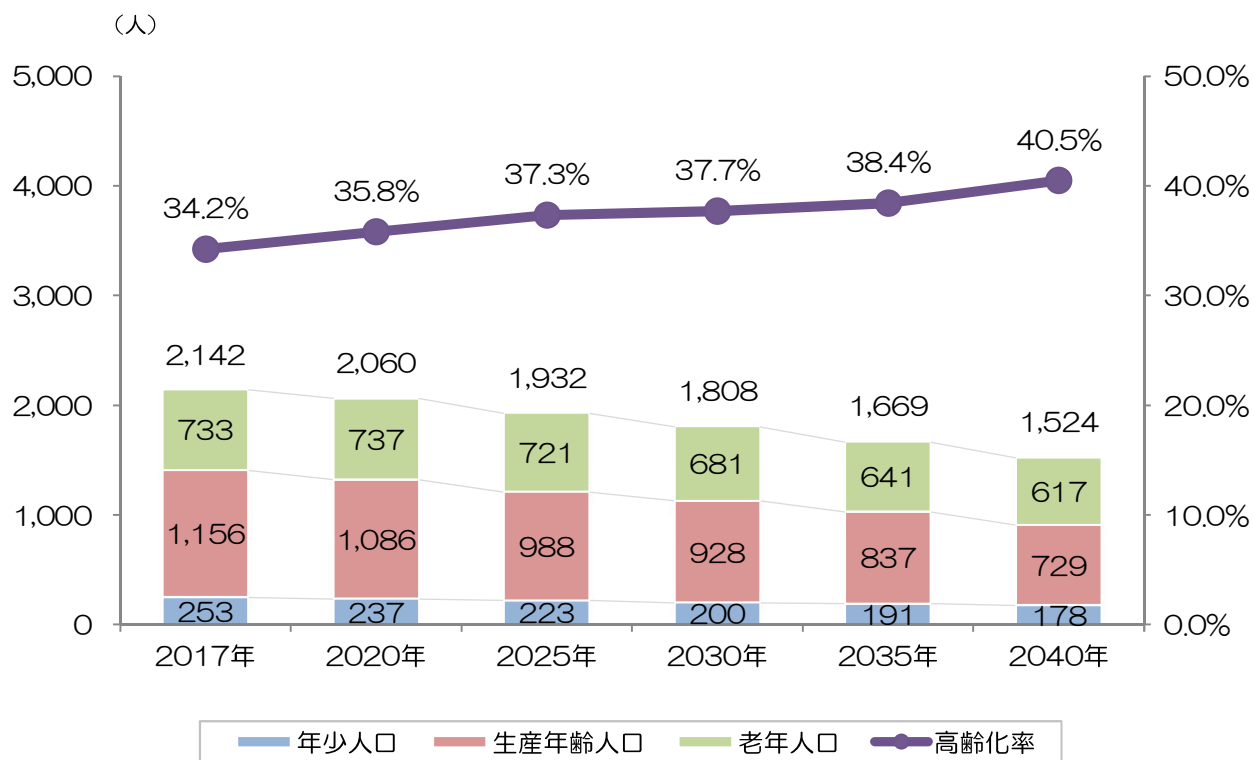
性別・年齢階級別社会増減



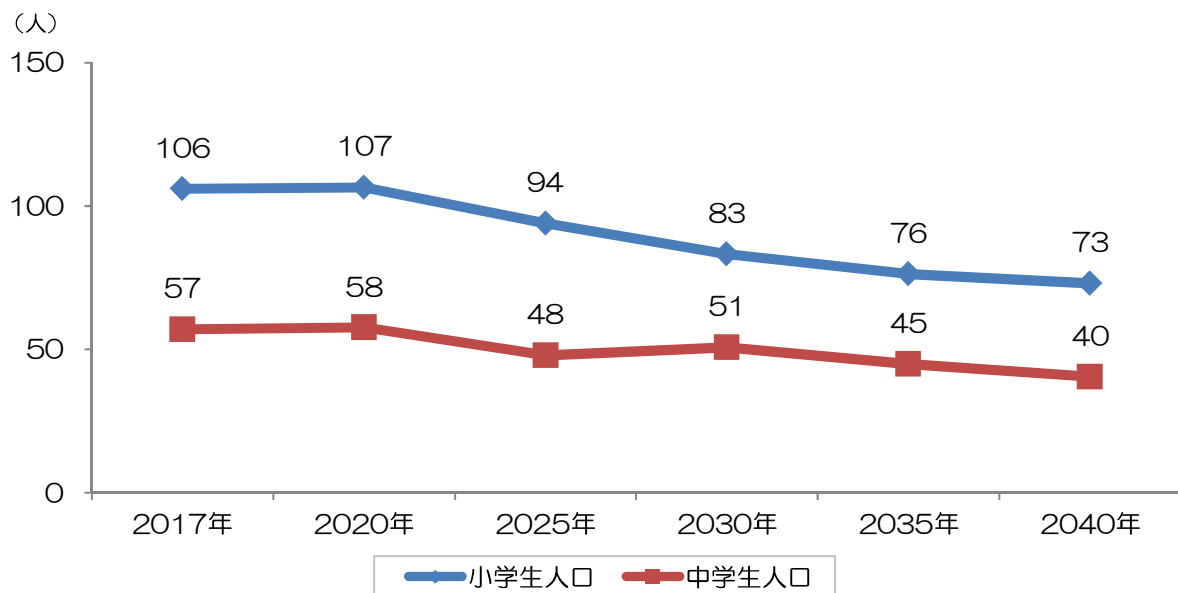
※住民基本台帳データより作成

・将来推計人口

年齢3区分と高齢化率



小・中学生



※2017 年は住民基本台帳人口、2020 年以降は柳川市独自推計より作成。小学生人口は 7～12 歳人口、中学生人口は 13～15 歳人口を示す

⑪ 皿垣小校区

人口動態をみると、自然減かつ社会減の状態にあります。市内間移動では社会増を得ている一方、市外間移動では社会減となっています。

社会増減の内訳をみると、10代後半から40代を中心にほとんどの年代で社会減となっています。

2017年の高齢化率をみると、全校区中最も高くなっています。

2040年の推計人口は、2017年の1,485人と比べて551人（37.1%）減の934になると予測されます。

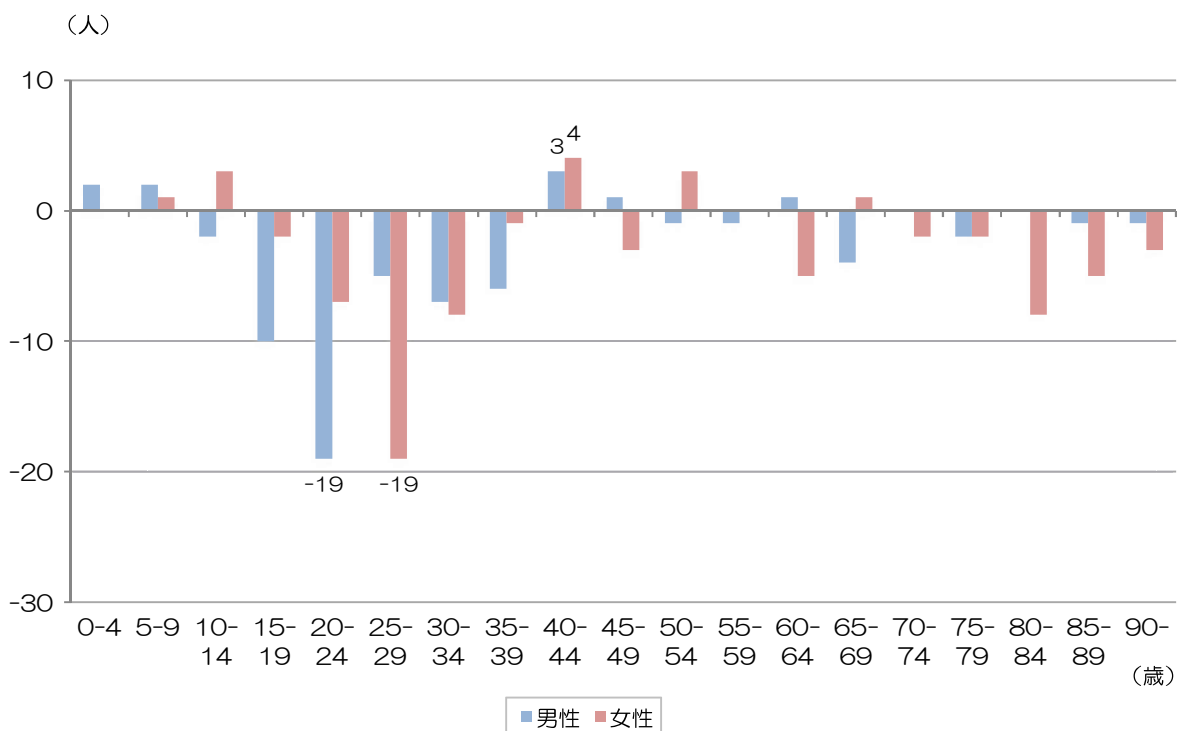
・人口動態（2012～2017年度）

自然増減数	出生数	死亡数
-82	51	133

	社会増減数	転入数	転出数
市内間移動	16	122	106
市外間移動	-119	108	227

・社会増減（2012～2017年度）

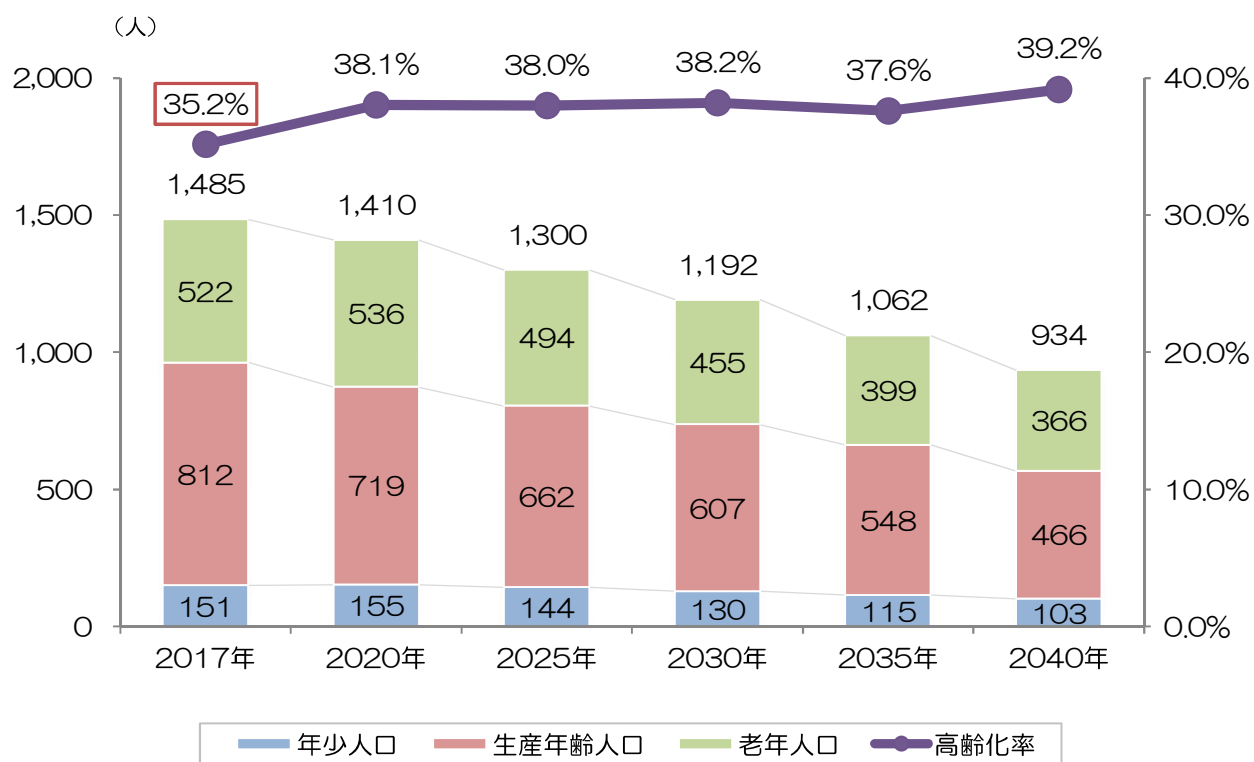
性別・年齢階級別社会増減



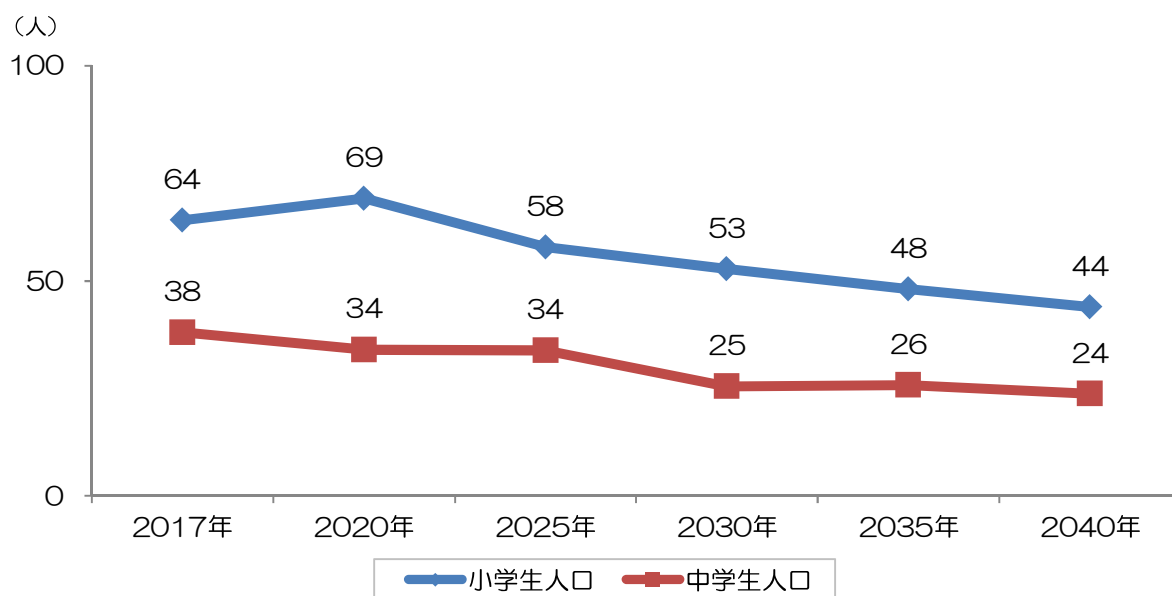
※住民基本台帳データより作成

・将来推計人口

年齢3区分と高齢化率



小・中学生



※2017年は住民基本台帳人口、2020年以降は柳川市独自推計より作成。小学生人口は7～12歳人口、中学生人口は13～15歳人口を示す

⑫ 有明小校区

人口動態をみると、自然減かつ社会減の状態にあります。

社会増減の内訳をみると、子育て世帯において社会増となっている一方、20代を中心に多くの年代で社会減となっています。

2040年の推計人口は、2017年の1,415人と比べて624人（44.1%）減の791になると予測され、減少率は全校区中2番目の高さとなっています。

2040年の高齢化率をみると、全校区中2番目の高さとなっています。

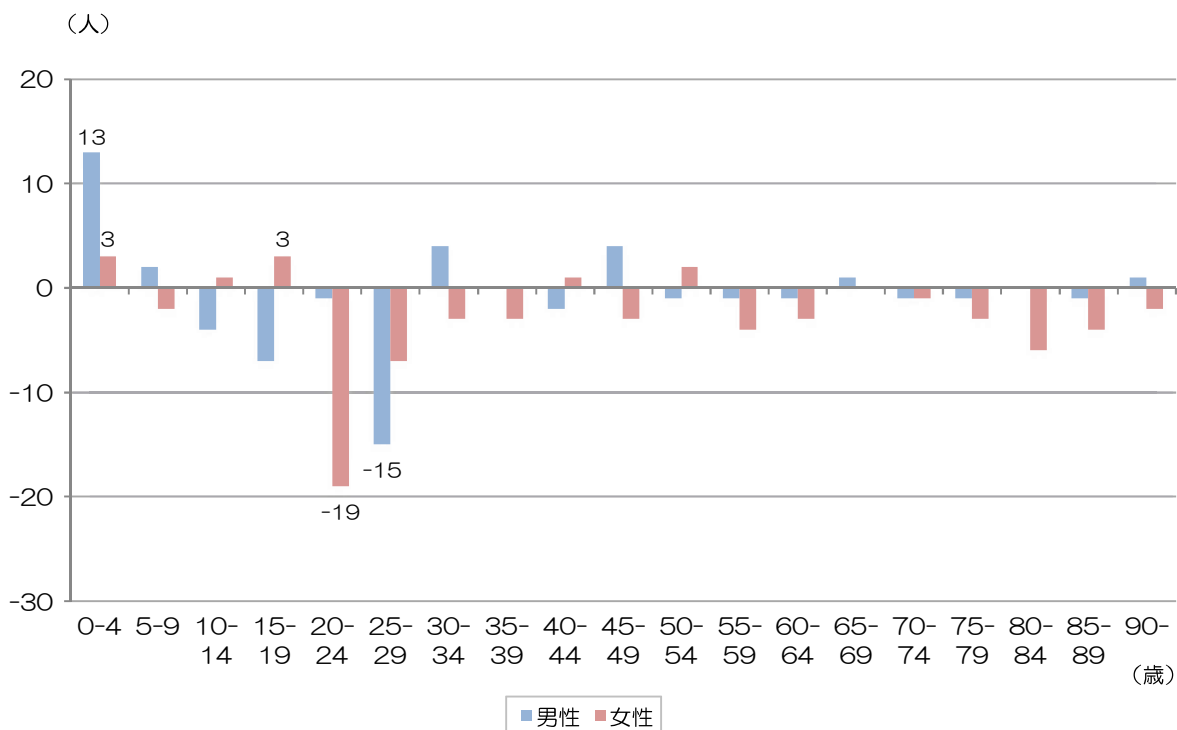
・人口動態（2012～2017年度）

自然増減数	出生数	死亡数
-61	48	109

	社会増減数	転入数	転出数
市内間移動	-7	102	109
市外間移動	-53	130	183

・社会増減（2012～2017年度）

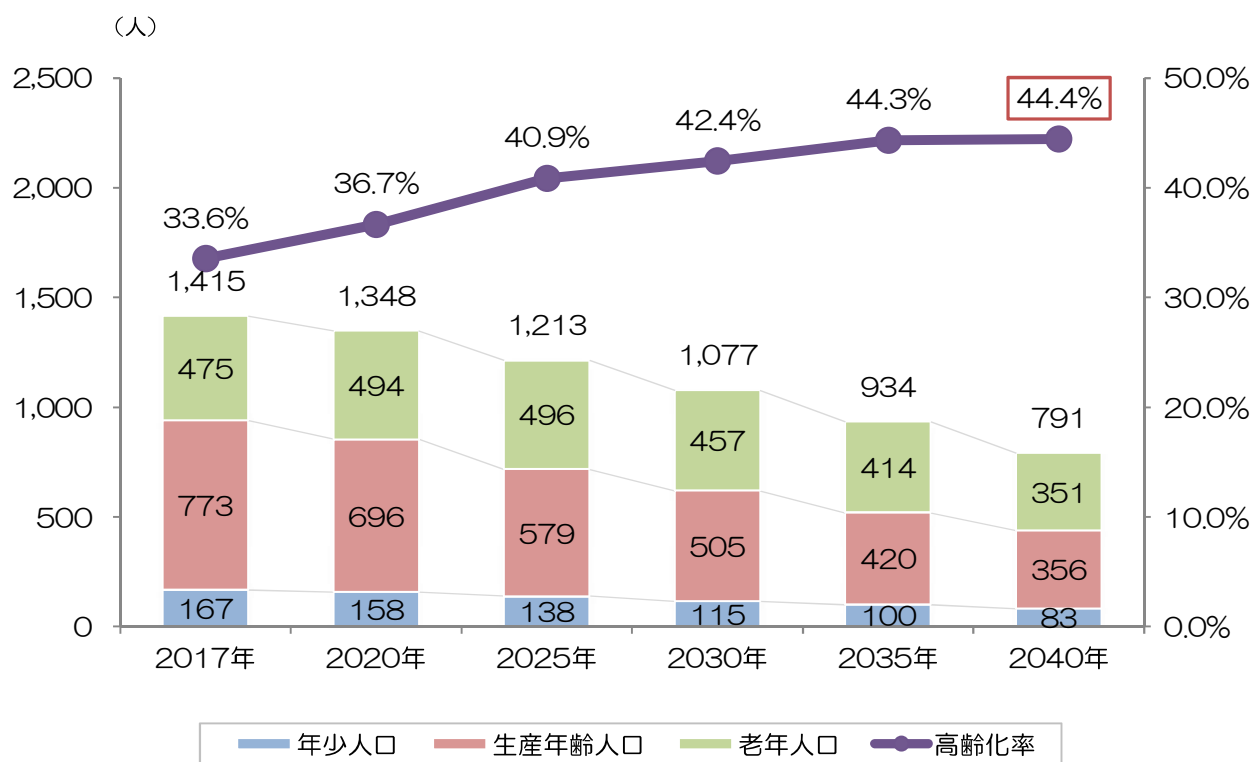
性別・年齢階級別社会増減



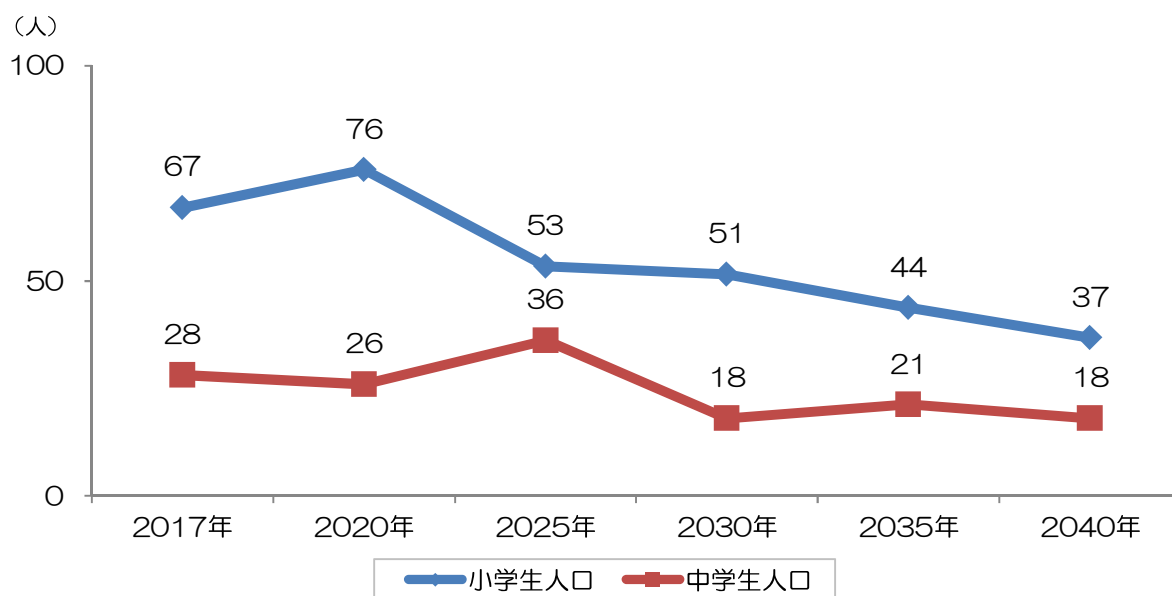
※住民基本台帳データより作成

・将来推計人口

年齢3区分と高齢化率



小・中学生



※2017年は住民基本台帳人口、2020年以降は柳川市独自推計より作成。小学生人口は7～12歳人口、中学生人口は13～15歳人口を示す

⑬ 中島小校区

人口動態をみると、自然減かつ社会減の状態にあります。

社会増減の内訳をみると、10代後半から30代を中心にほとんどの年代で社会減となっています。

2040年の推計人口は、2017年の3,788人と比べて1,368人（36.1%）減の2,420人になると予測されます。

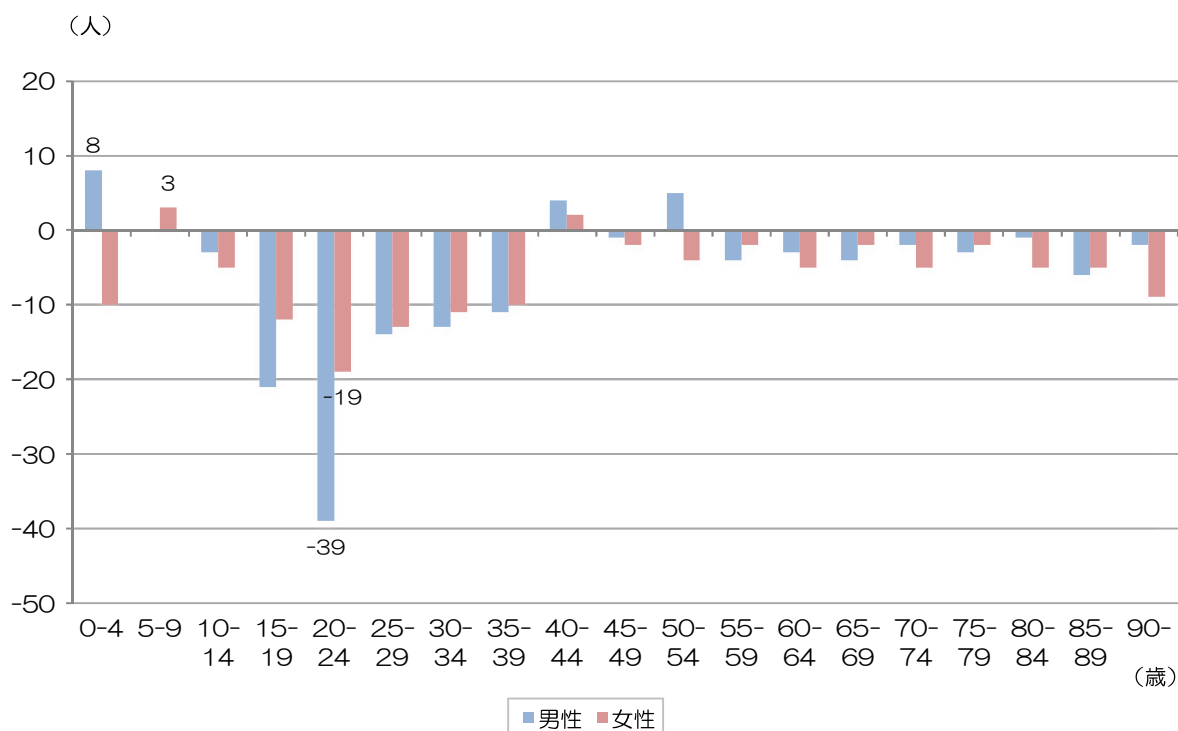
・人口動態（2012～2017年度）

自然増減数	出生数	死亡数
-195	147	342

	社会増減数	転入数	転出数
市内間移動	-72	153	225
市外間移動	-154	410	564

・社会増減（2012～2017年度）

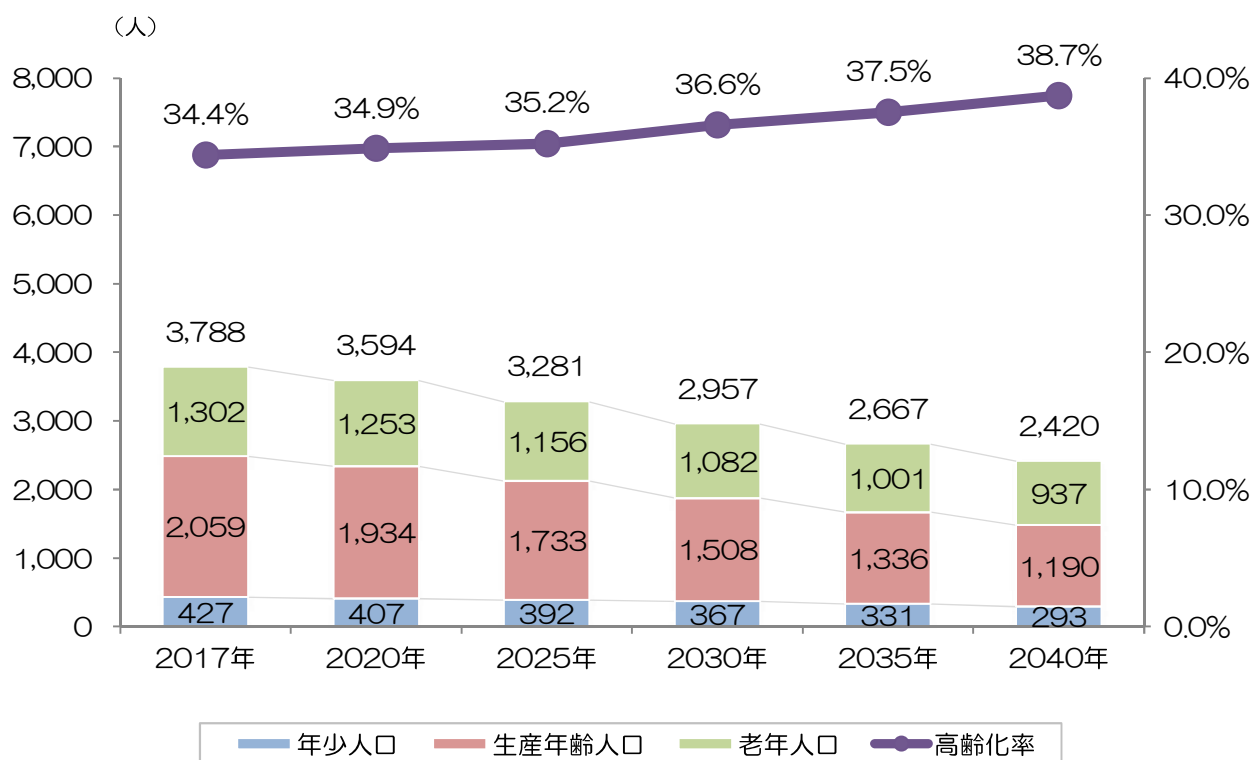
性別・年齢階級別社会増減



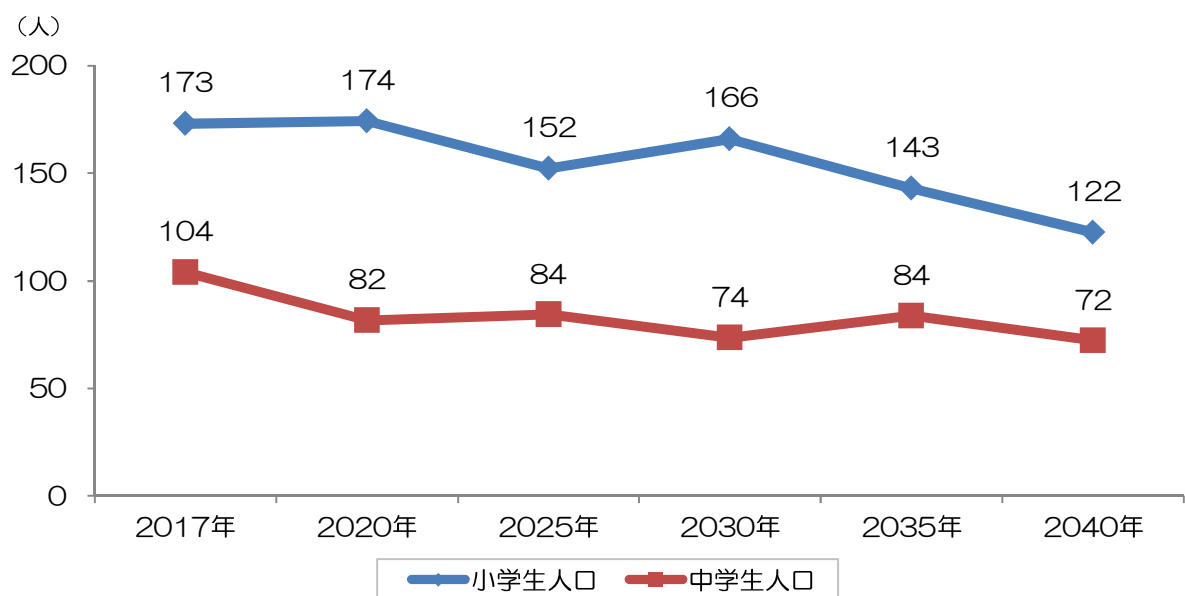
※住民基本台帳データより作成

・将来推計人口

年齢3区分と高齢化率



小・中学生



※2017年は住民基本台帳人口、2020年以降は柳川市独自推計より作成。小学生人口は7～12歳人口、中学生人口は13～15歳人口を示す

⑭ 六合小校区

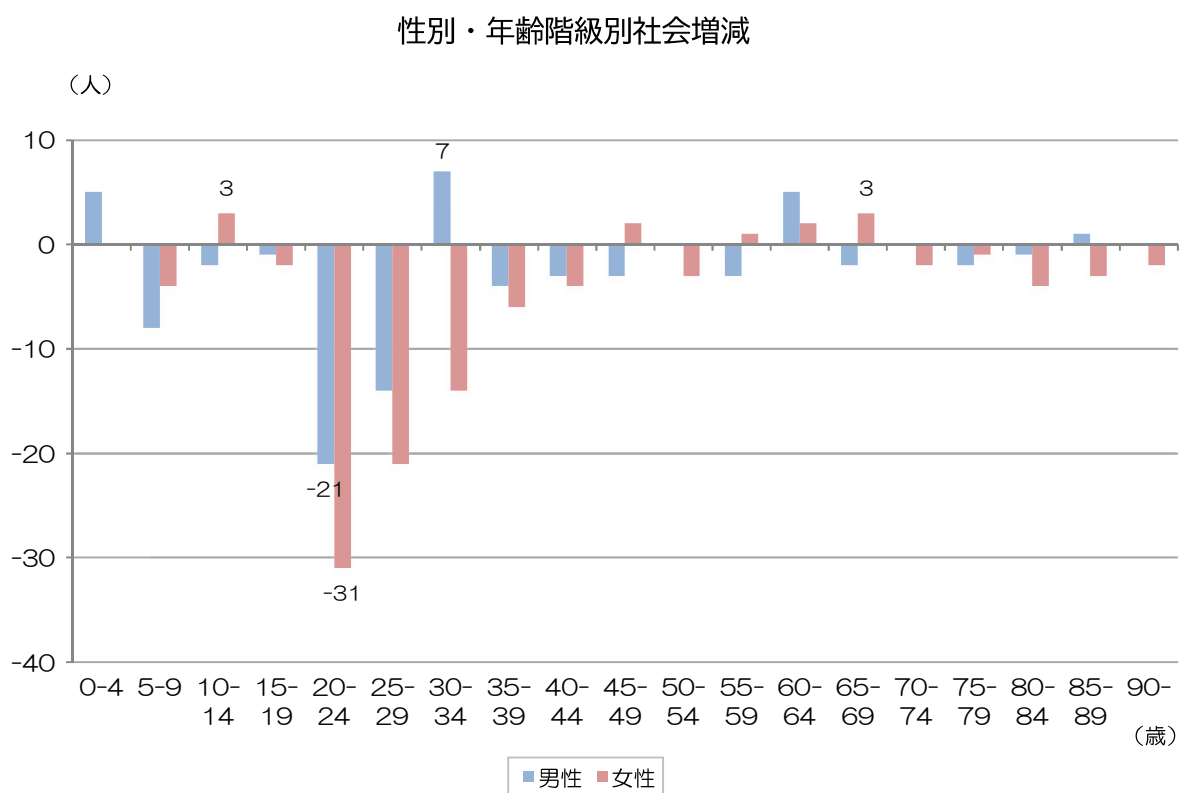
人口動態をみると、自然減かつ社会減の状態にあります。
 社会増減の内訳をみると、20代を中心にほとんどの年代で社会減となっています。
 2040年の推計人口は、2017年の2,478人と比べて937人（37.8%）減の1,541人になると予測されます。

・人口動態（2012～2017年度）

自然増減数	出生数	死亡数
-91	106	197

	社会増減数	転入数	転出数
市内間移動	-53	211	264
市外間移動	-79	321	400

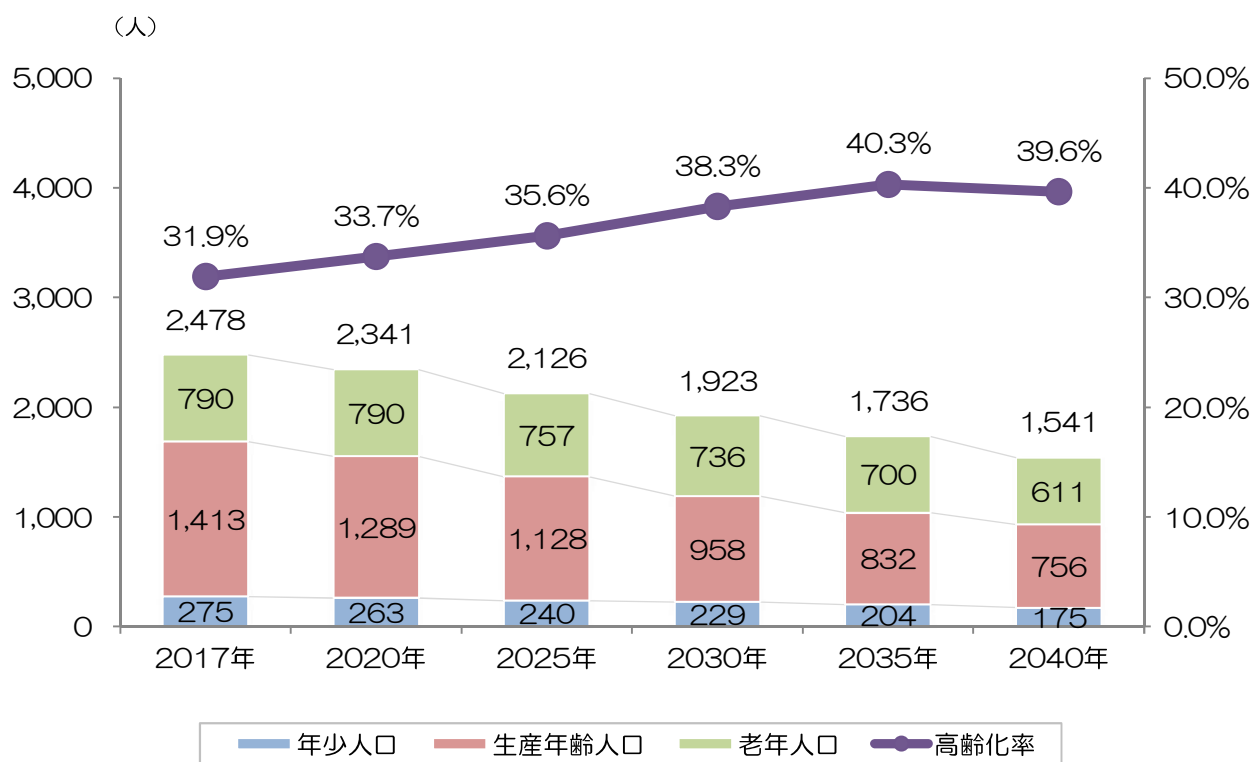
・社会増減（2012～2017年度）



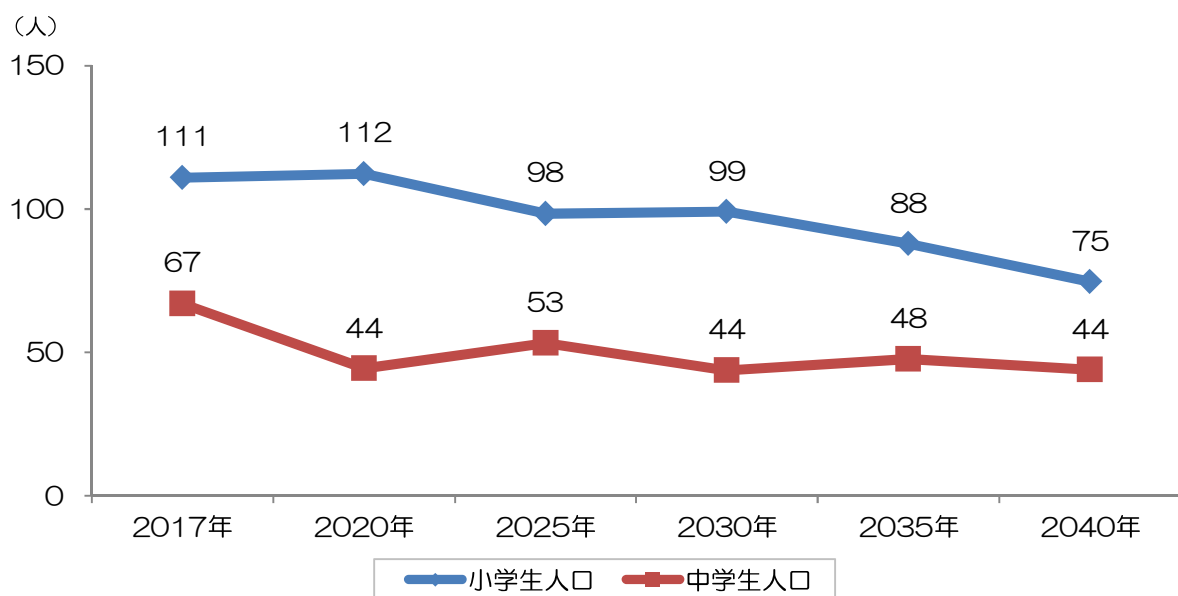
※住民基本台帳データより作成

・将来推計人口

年齢3区分と高齢化率



小・中学生



※2017 年は住民基本台帳人口、2020 年以降は柳川市独自推計より作成。小学生人口は 7～12 歳人口、中学生人口は 13～15 歳人口を示す

⑮ 藤吉小校区

人口動態をみると、自然増（全校区中 2 番目の多さ）かつ社会増の状態にあります。しかし、社会増は市内間移動（全校区中 1 番目の多さ）で得たものであり、市外間移動では社会減となっています。

社会増減の内訳をみると、多くの年代で社会増となっています。

2017 年の高齢化率をみると、全校区中 2 番目の低さとなっています。

2040 年の推計人口は、2017 年の 6,927 人と比べて 1,393 人（20.1%）減の 5,534 人になると予測されます。

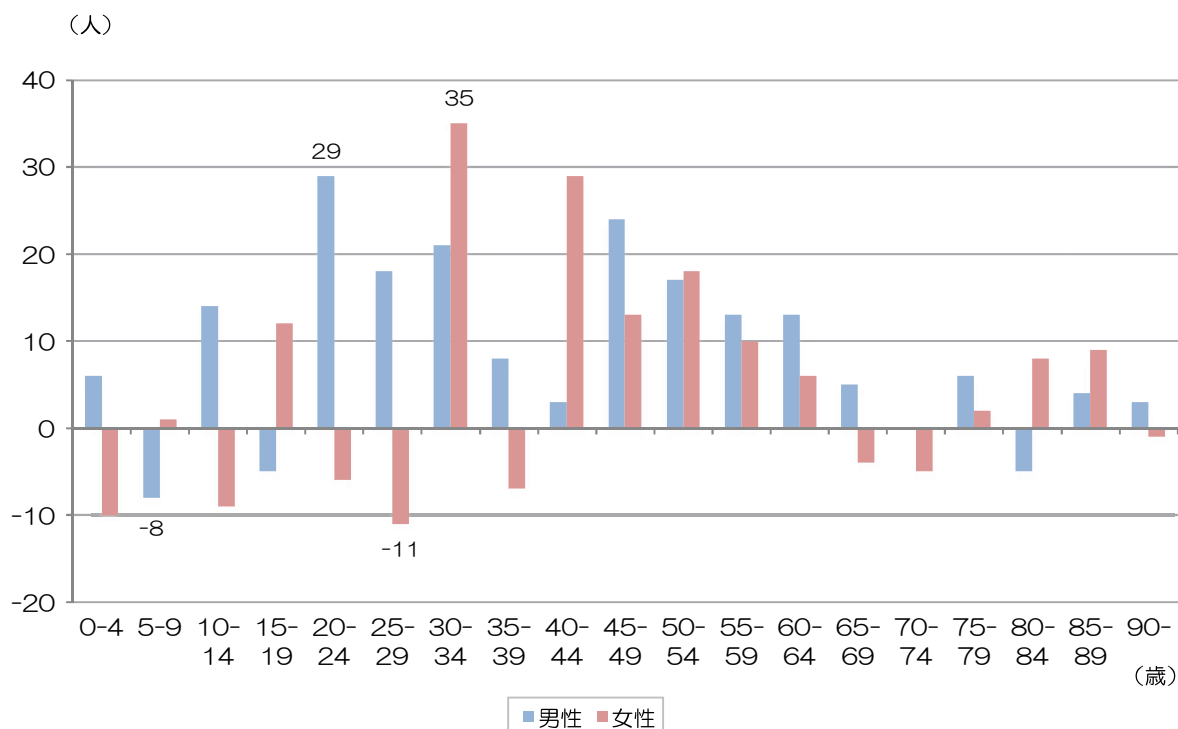
・人口動態（2012～2017 年度）

自然増減数	出生数	死亡数
3	402	399

	社会増減数	転入数	転出数
市内間移動	265	1,237	972
市外間移動	-9	1,858	1,867

・社会増減（2012～2017 年度）

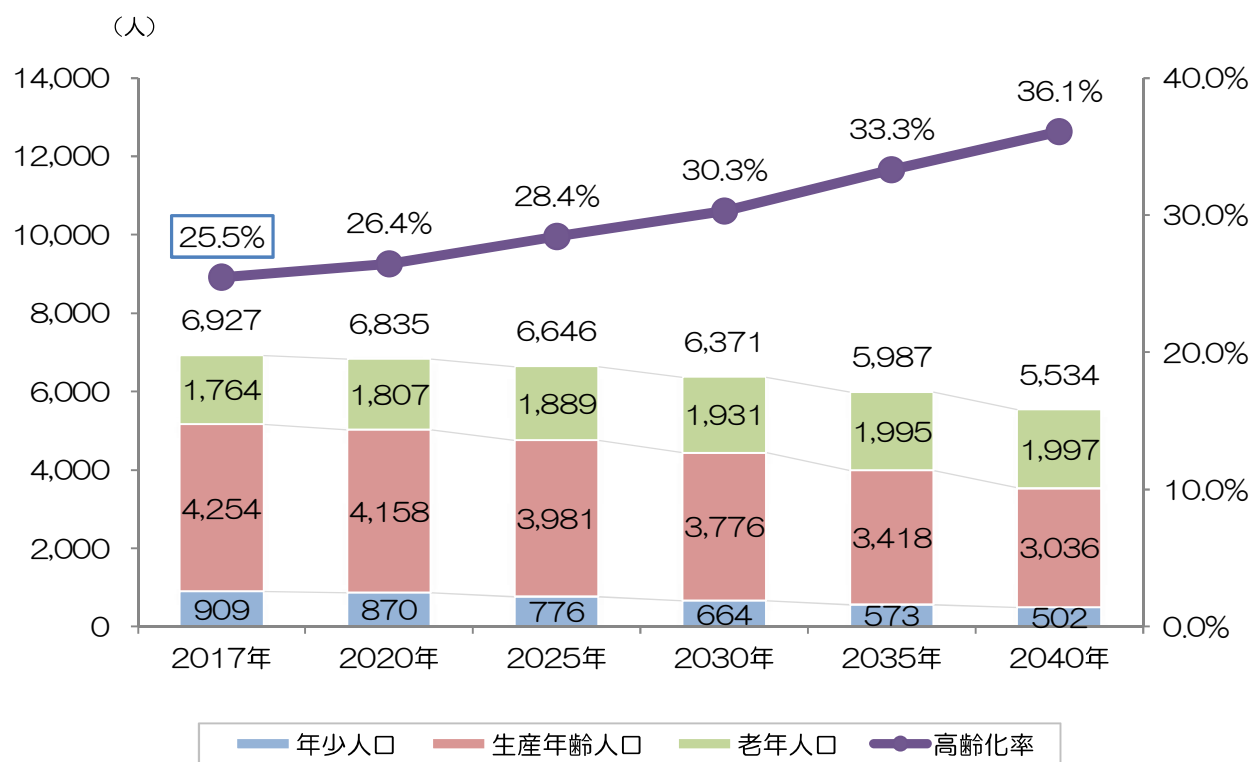
性別・年齢階級別社会増減



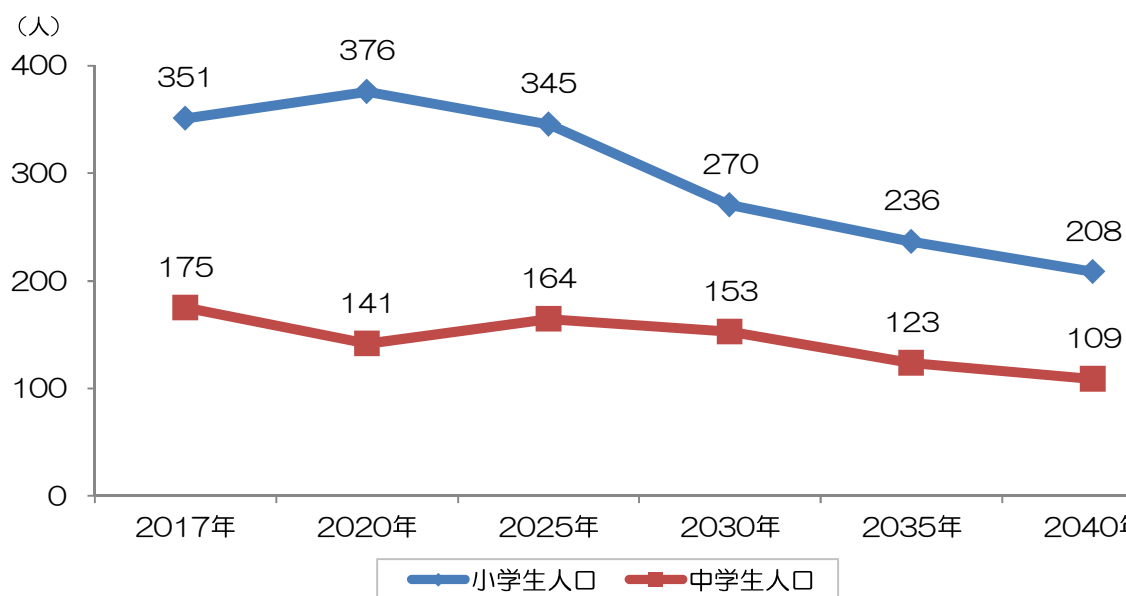
※住民基本台帳データより作成

・将来推計人口

年齢3区分と高齢化率



小・中学生



※2017年は住民基本台帳人口、2020年以降は柳川市独自推計より作成。小学生人口は7～12歳人口、中学生人口は13～15歳人口を示す

⑯ 矢ヶ部小校区

人口動態をみると、自然増（全校区中 1 番目の多さ）かつ社会増の状態にあります。市内間移動では社会減となっているものの、市外間移動では社会増（全校区中 1 番目の多さ）を得ています。

社会増減の内訳をみると、10 代後半に大きな社会増、20 代前半に大きな社会減がみられ、専門学校が立地していることが影響していると考えられます。

2017 年及び 2040 年の高齢化率をみると、全校区中最も低くなっています。

2040 年の推計人口は、2017 年の 2,355 人と比べて 35 人（1.5%）減の 2,320 人になると予測されます。

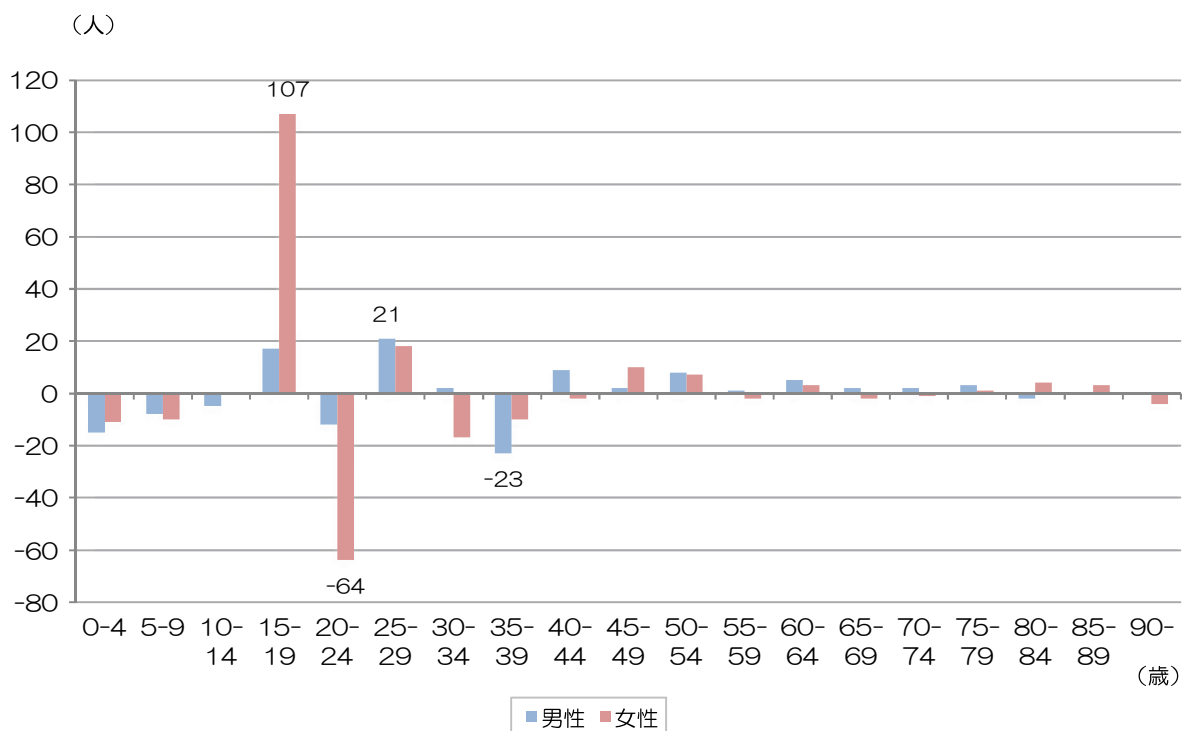
・人口動態（2012～2017 年度）

自然増減数	出生数	死亡数
25	151	126

	社会増減数	転入数	転出数
市内間移動	-35	381	416
市外間移動	72	692	620

・社会増減（2012～2017 年度）

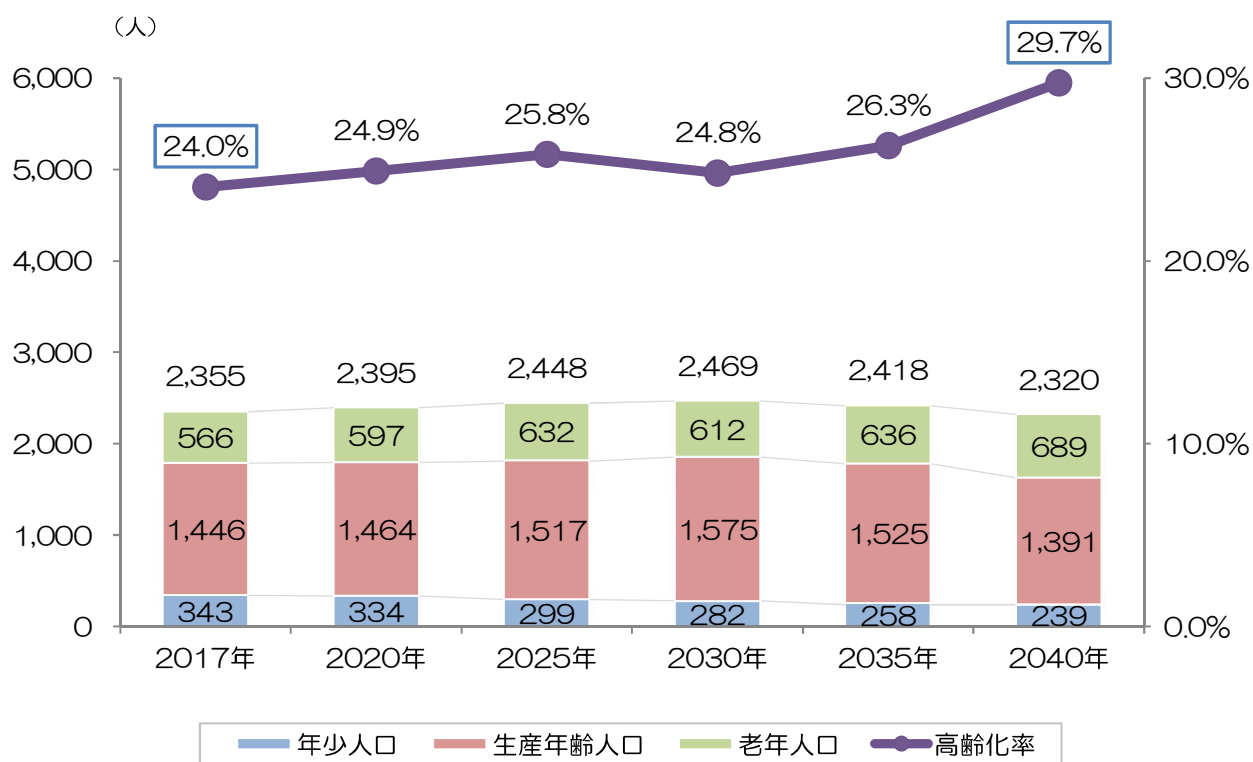
性別・年齢階級別社会増減



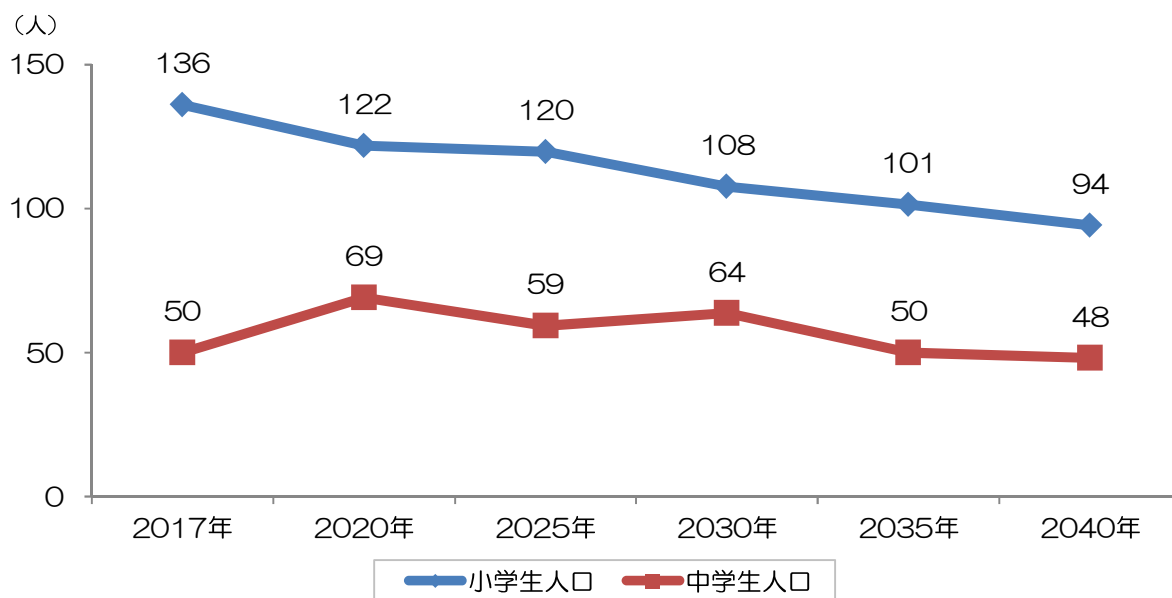
※住民基本台帳データより作成

・将来推計人口

年齢3区分と高齢化率



小・中学生



※2017年は住民基本台帳人口、2020年以降は柳川市独自推計より作成。小学生人口は7～12歳人口、中学生人口は13～15歳人口を示す

⑰ ニツ河小校区

人口動態をみると、自然減かつ社会減の状態にあります。
 社会増減の内訳をみると、10代後半から30代を中心に社会減となっています。
 2040年の推計人口は、2017年の3,974人と比べて1,313人（33.0%）減の2,661人になると予測されます。
 2040年の高齢化率をみると、全校区中最も高くなっています。

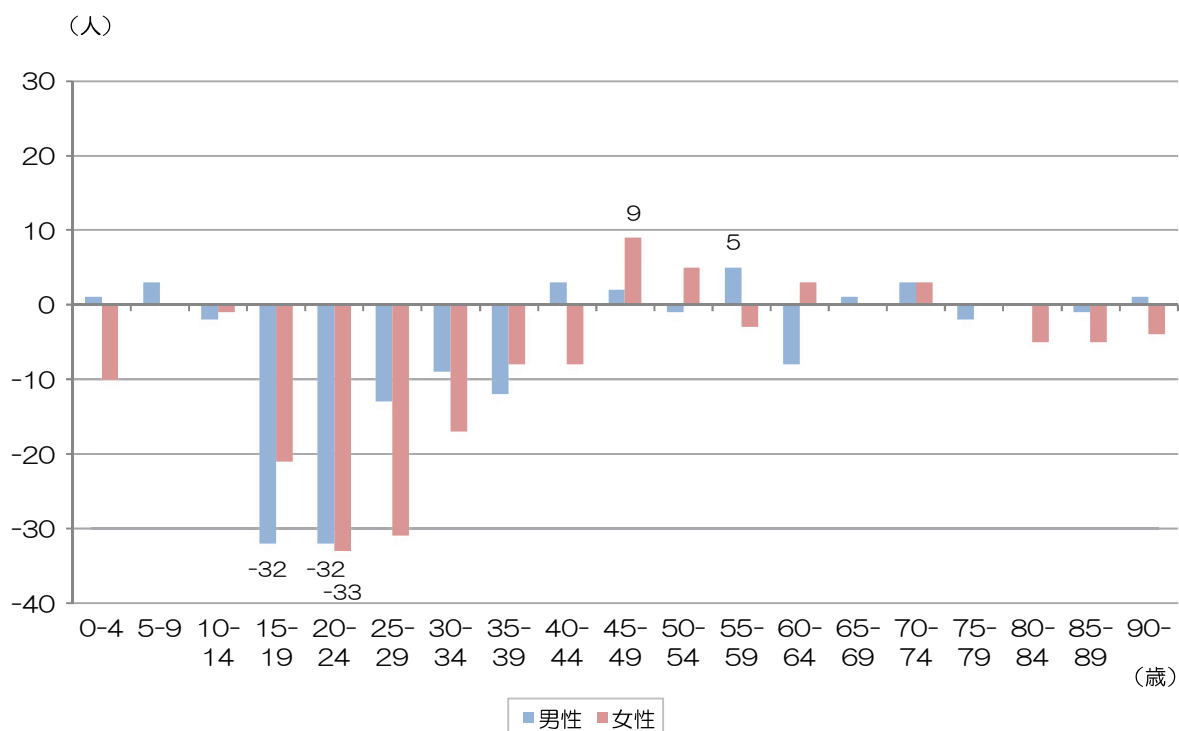
・人口動態（2012～2017年度）

自然増減数	出生数	死亡数
-128	147	275

	社会増減数	転入数	転出数
市内間移動	-44	278	322
市外間移動	-175	452	627

・社会増減（2012～2017年度）

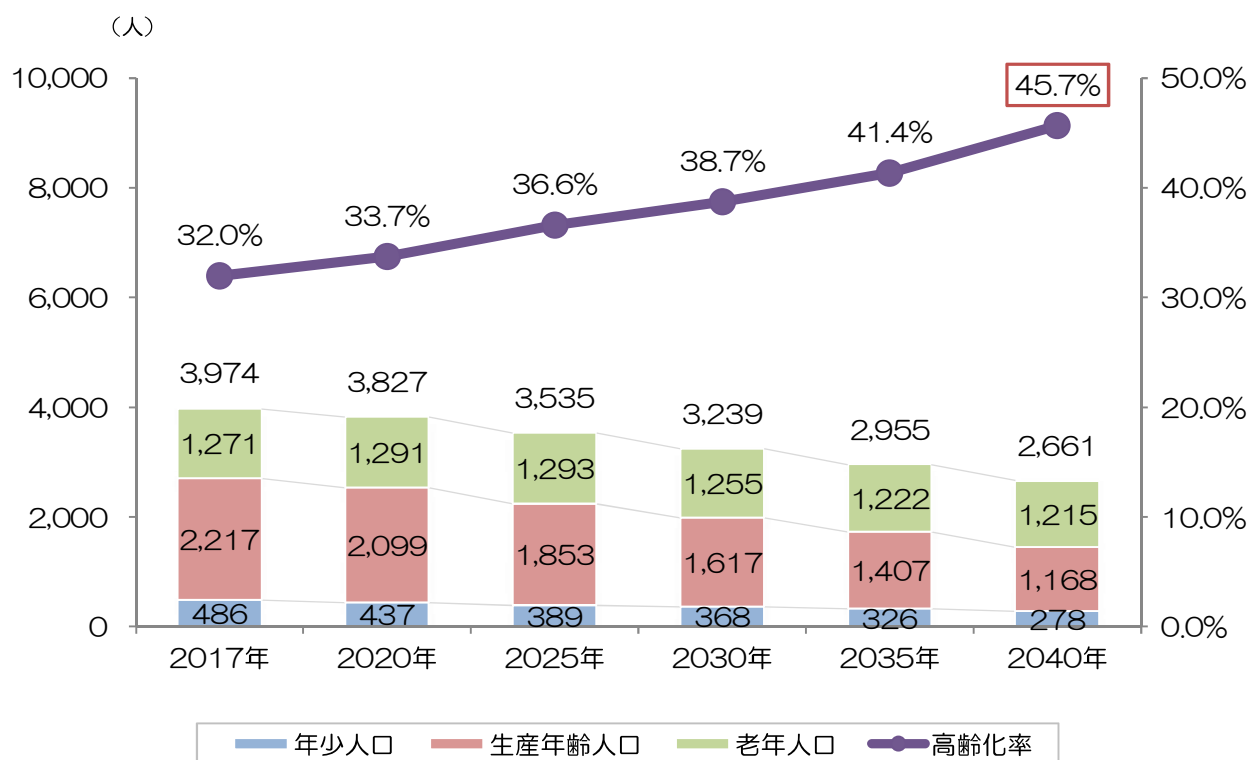
性別・年齢階級別社会増減



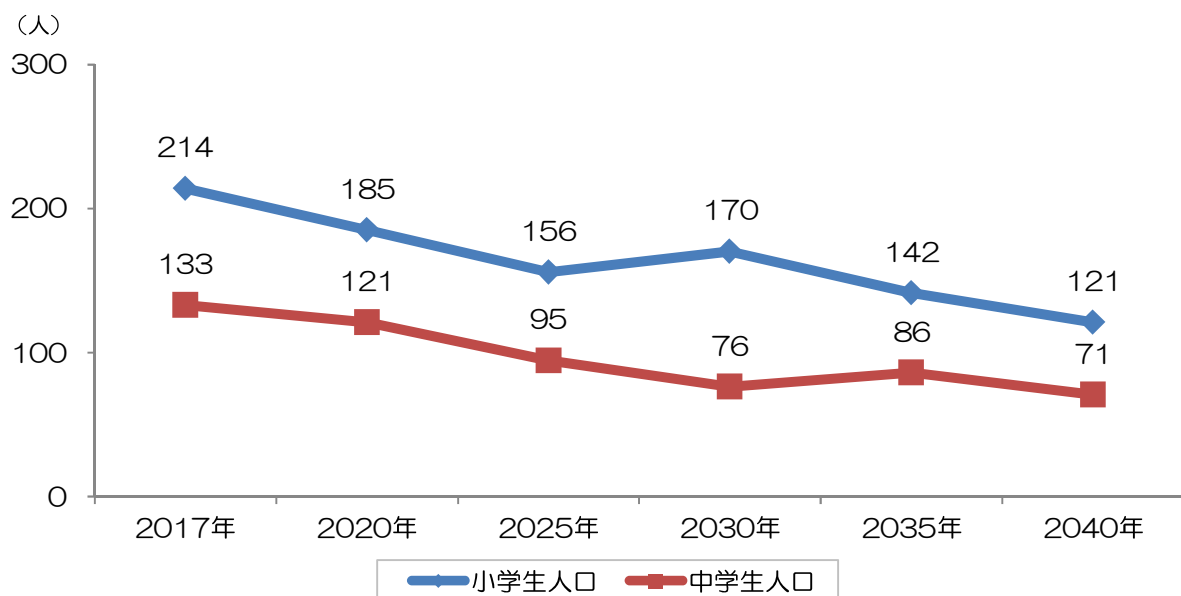
※住民基本台帳データより作成

・将来推計人口

年齢3区分と高齢化率



小・中学生



※2017 年は住民基本台帳人口、2020 年以降は柳川市独自推計より作成。小学生人口は 7～12 歳人口、中学生人口は 13～15 歳人口を示す

⑱ 垂見小校区

人口動態をみると、自然減かつ社会減の状態にあります。市内間移動では社会増を得ている一方、市外間移動では社会減となっています。

社会増減の内訳をみると、子育て世帯において社会増となっている一方、10代後半から20代を中心に社会減となっています。

2040年の推計人口は、2017年の3,070人と比べて810人（26.4%）減の2,260人になると予測されます。

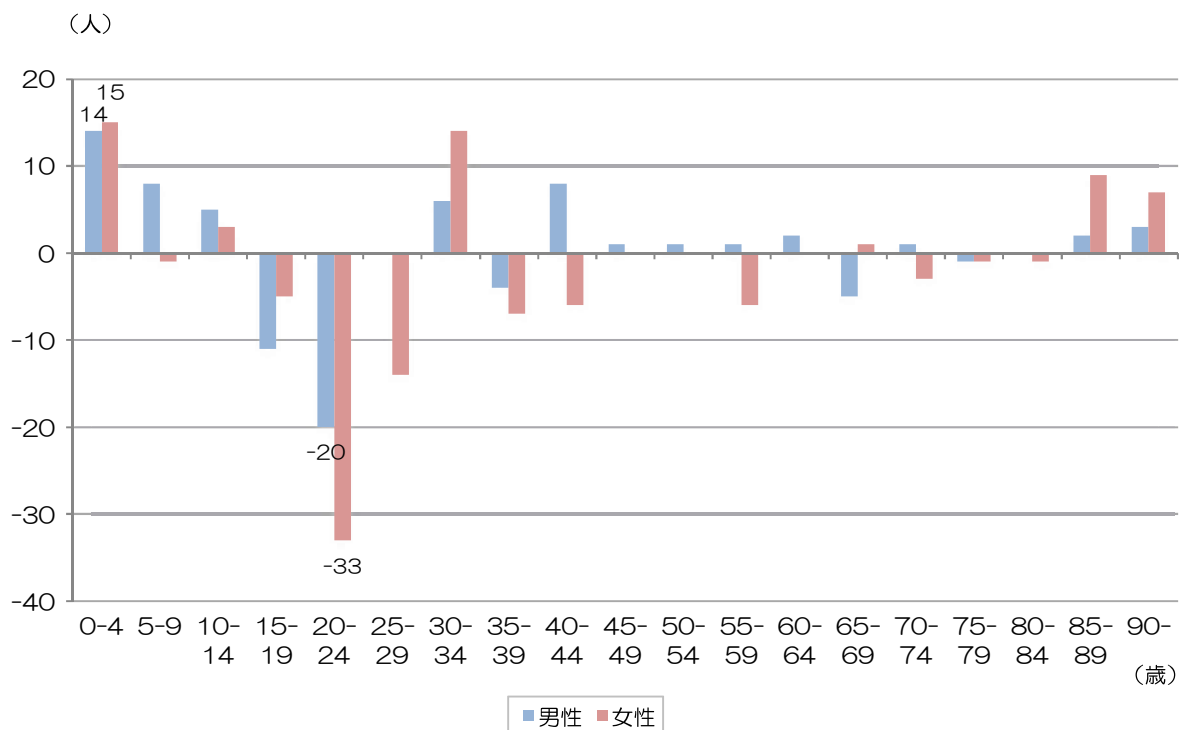
・人口動態（2012～2017年度）

自然増減数	出生数	死亡数
-176	120	296

	社会増減数	転入数	転出数
市内間移動	58	297	239
市外間移動	-75	369	444

・社会増減（2012～2017年度）

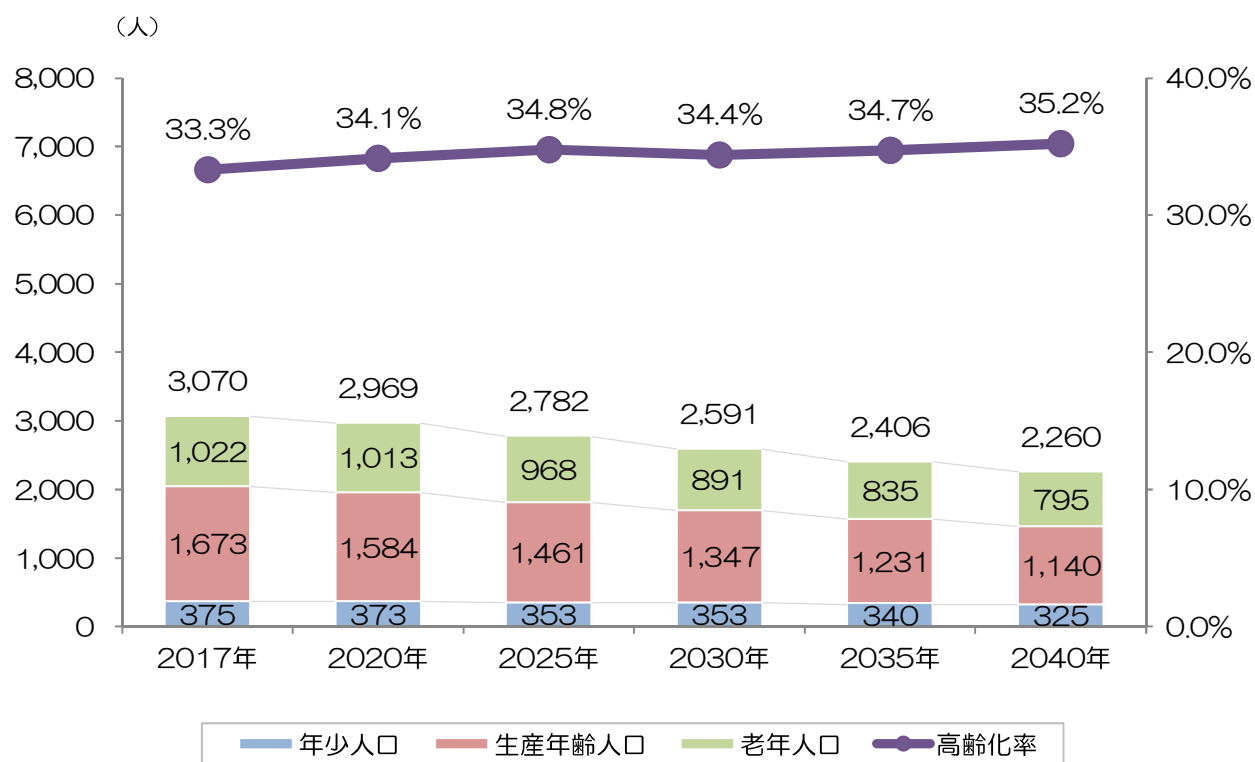
性別・年齢階級別社会増減



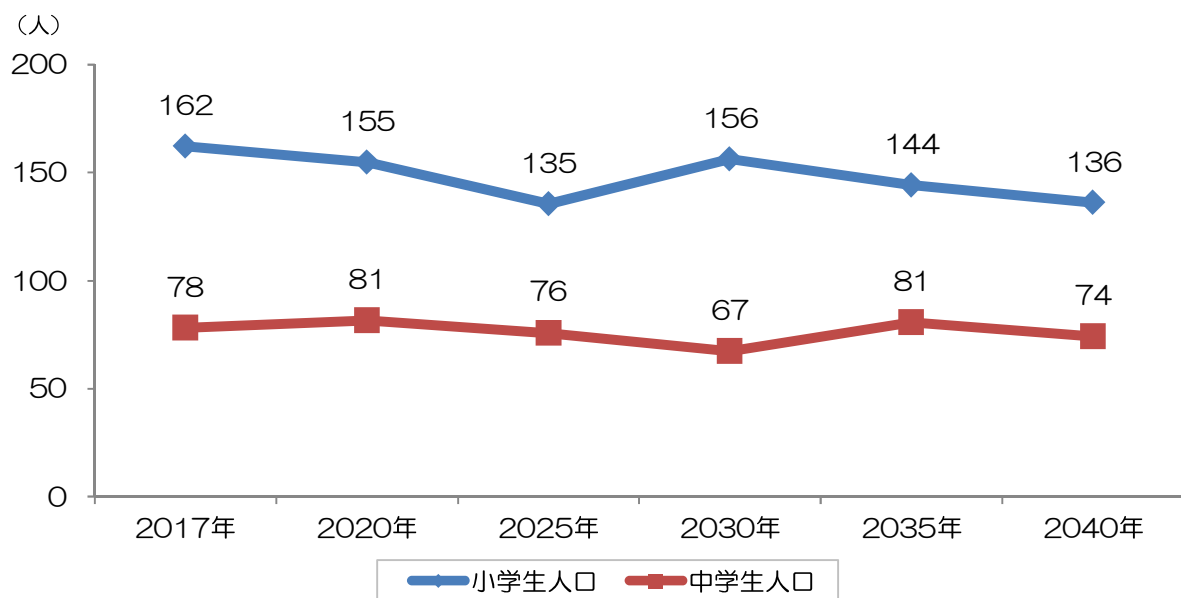
※住民基本台帳データより作成

・将来推計人口

年齢3区分と高齢化率



小・中学生



※2017 年は住民基本台帳人口、2020 年以降は柳川市独自推計より作成。小学生人口は 7～12 歳人口、中学生人口は 13～15 歳人口を示す

⑨ 中山小校区

人口動態をみると、自然減かつ社会減の状態にあります。市内間移動では社会増を得ている一方、市外間移動では社会減となっています。

社会増減の内訳をみると、4歳以下の年代で社会増を得ている一方、それ以外のほとんどの年代で社会減となっています。

2040年の推計人口は、2017年の814人と比べて444人（54.5%）減の370人になると予測され、減少率は全校区中最も高くなっています。

2040年の高齢化率をみると、全校区中最も低くなっています。

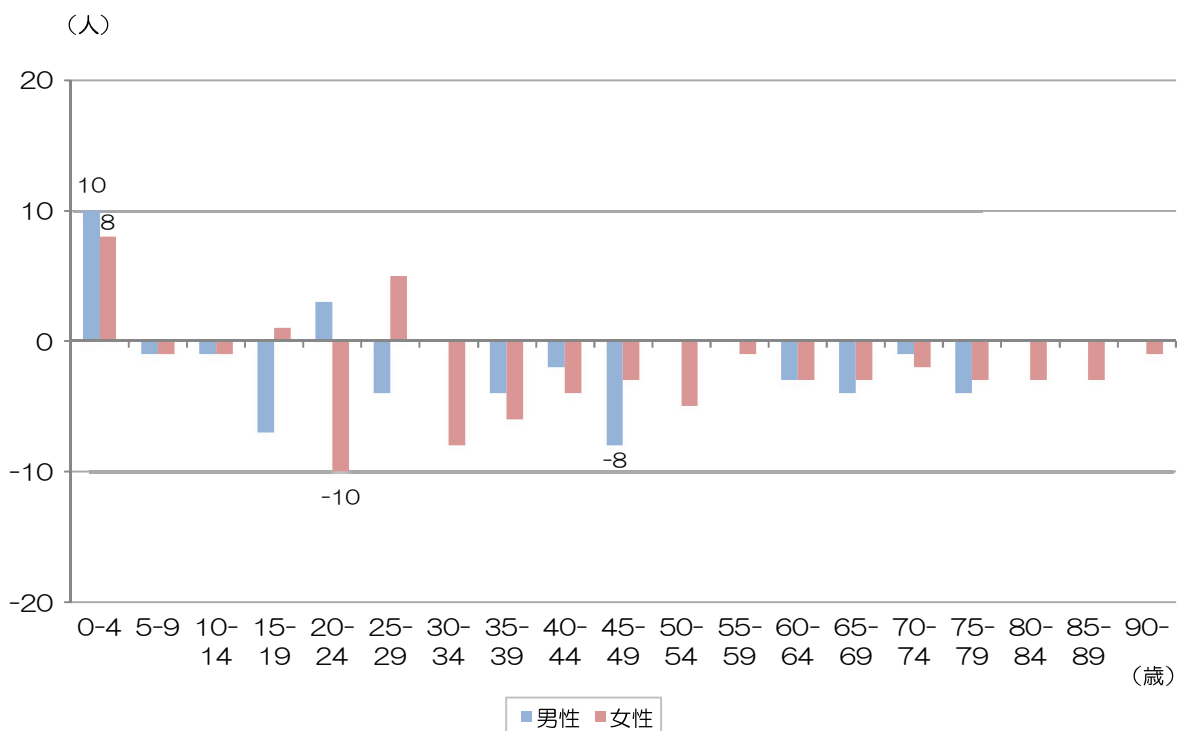
・人口動態（2012～2017年度）

自然増減数	出生数	死亡数
-16	54	70

	社会増減数	転入数	転出数
市内間移動	18	99	81
市外間移動	-87	94	181

・社会増減（2012～2017年度）

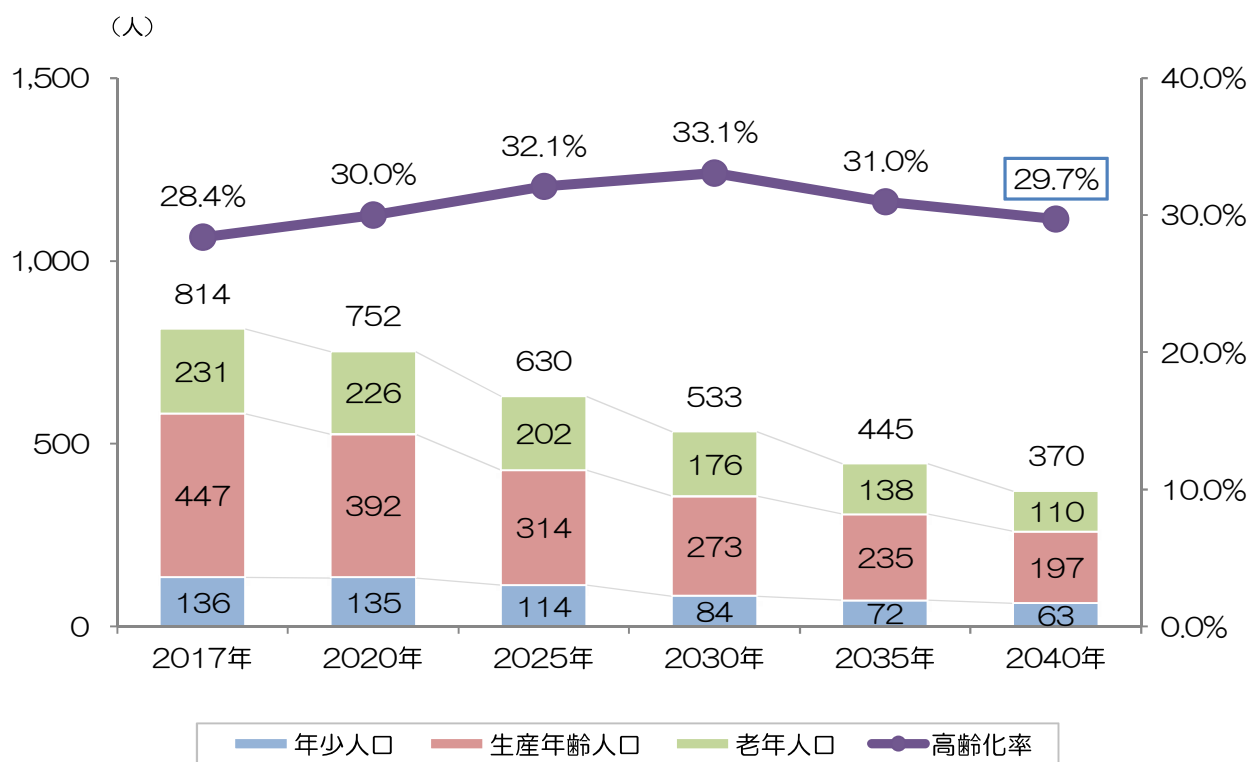
性別・年齢階級別社会増減



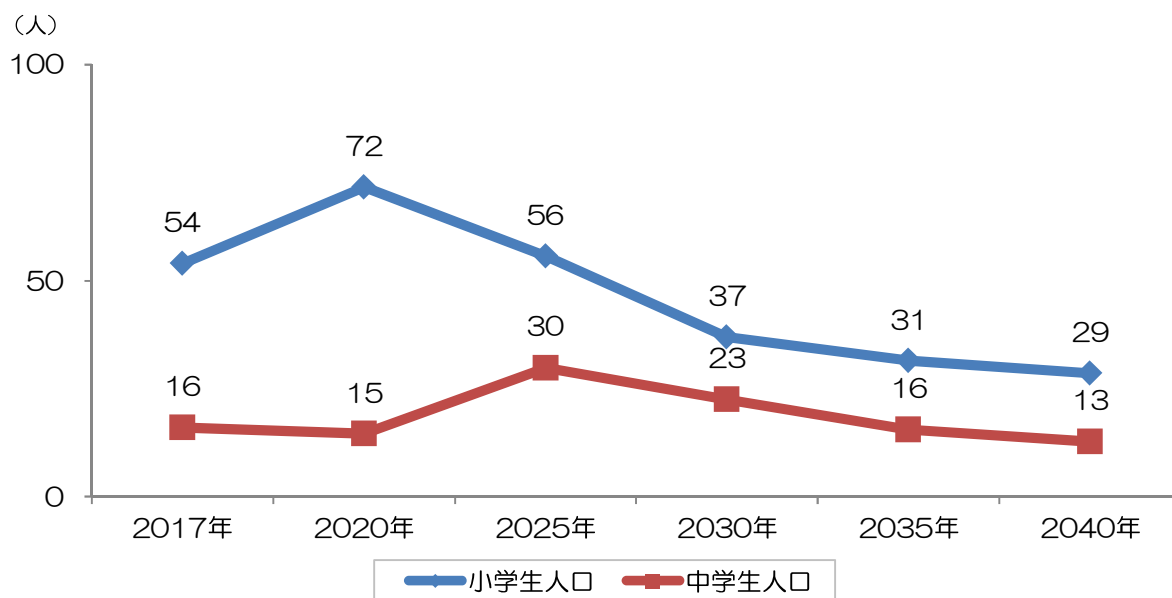
※住民基本台帳データより作成

・将来推計人口

年齢3区分と高齢化率



小・中学生



※2017 年は住民基本台帳人口、2020 年以降は柳川市独自推計より作成。小学生人口は 7～12 歳人口、中学生人口は 13～15 歳人口を示す